

LED モニター

ユーザー マニュアル

色と外観は製品によって異なる場合があります、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。



目次

安全にお使いいただくために

ご使用になる前に	1-1
お手入れとメンテナンス	1-2
モニターの清掃	1-3
安全のために	1-4

製品の設置

パッケージ内容	2-1
スタンドの取り付け	2-2
製品の傾きと高さの調整	2-3
モニター画面の回転	2-4
ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け ...	2-5
ネットワークへの接続	2-6
電源の接続	2-7
別のモニターへの接続	2-8
シリアル ケーブルの接続	2-9
PC との接続	2-10
ステレオ ケーブルの接続	2-11
ヘッドフォンの接続	2-12
マイクの接続	2-13
Kensington ロック	2-14

製品の使用

PC over IP とは?	3-1
LAN ケーブルを使用してホスト PC に接続する	3-2
プラグ & プレイ	3-3
標準信号モード表	3-4
デバイス ドライバのインストール	3-5
USB-to-Serial ドライバのインストール	3-6
製品の操作ボタン	3-7
画面調整メニュー (OSD:On Screen Display) の使用	3-8

ソフトウェアのインストール

PCoIP	4-1
Natural Color	4-2
MultiScreen	4-3

トラブルシューティング

モニターの自己診断	5-1
故障かな?と思ったら	5-2
FAQ	5-3



詳細情報

仕様	6-1
省電力機能	6-2

1 安全にお使いいただくために

1-1 ご使用になる前に

記号について


アイコン	名前	意味
	警告	この内容を守らない場合には思わぬけがをしたり、製品が損傷する恐れがございます。
	備考	機能を操作するためのヒントを示します。

このマニュアルの使用について

- この製品を使用する前に、安全についての予防措置について十分に理解してください。
- 問題が発生した場合には、「トラブルシューティング」のセクションを参照してください。

お客様相談ダイヤル

東雲サービスセンター


 0120-327-527

受付時間 平日（土日祭日を除く）9:00~17:00 ?

ホームページ <http://www.samsung.com/jp>

住所 〒135-0062 東京都江東区東雲2-6-38

Fax 03-3527-5533

 予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

著作権について

このマニュアルの内容は、性能を向上させるために事前の予告なく変更される場合があります。

Copyright © 2011 Samsung Electronics Co., Ltd. All Rights Reserved.

このマニュアルの著作権は、Samsung Electronics, Co., Ltd.が保有しています。

このマニュアルの内容の一部または全部について、いかなる形態においても、Samsung Electronics, Co., Ltd.の書面による許可なく複製、配布または使用することはできません。

SAMSUNG のロゴと SyncMaster は、Samsung Electronics, Co., Ltd.の登録商標です。

Microsoft、Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の登録商標です。

VESA、DPM および DDC は、Video Electronics Standard Association の登録商標です。

その他このマニュアルに記載されているすべての商標は、それぞれの会社のものです。

本製品は日本国内用として製造、販売しています。日本国外で使用された場合、当社は責任を負い兼ねます。また、技術相談や、アフターサービスなども国外では行っておりませんのでご注意ください。

本製品は一般OA用として設計・製造されています。一般OA用以外の用途で使用される場合は、保証期間内であっても無償修理の対象外となることがありますのでご注意ください。

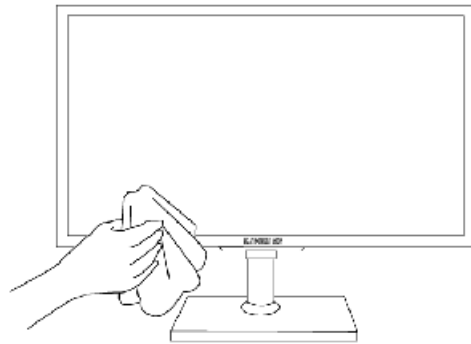
1-2 お手入れとメンテナンス

表面と画面のメンテナンス

製品を乾いた湿らせた布で清掃します。

- この製品は、ベンゼンやシンナーなどの可燃性の物質、もしくは濡れた布で清掃してはなりません。製品の故障の原因となることがあります。
- 爪や尖った物で画面をひっかかないようにしてください。製品に傷が付いたり破損したりすることがあります。
- 製品に直接水をかけて清掃しないでください。製品に水が浸入すると、火災、感電または製品の故障の原因となることがあります。
- 超音波加湿器を使用している場合、光沢のあるモデルの表面に材料固有の特性によって白いしみのようなものが見える場合があります。

■ 外観と色はモデルによって異なります。

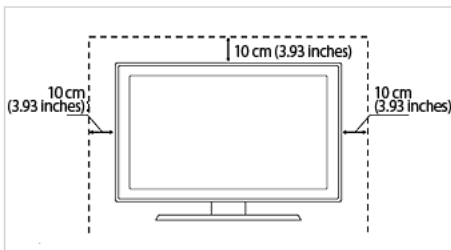


設置場所の安全確保

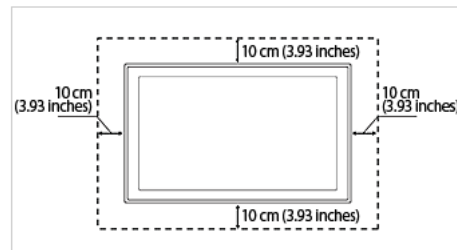
- 十分な通気を確保するため、製品と他の物体（壁など）の間に必要な距離をとってください。これを怠った場合、製品の内部温度の上昇による火災やその他の問題の原因となることがあります。製品を設置するときには、図に示す距離をとります。

■ 外観は製品のモデルによって異なる場合があります。

スタンドを付けて製品を設置するとき



ウォールマウントで製品を設置するとき



残像について

- 静止画像を長時間表示すると、画面上に残像が発生したり画面がぼやけたりする場合があります。製品を長期間使用しない場合には、コンセントから電源コードを外してください。
- パネルメーカーにおける技術的制約によって、この製品に表示される映像の中に約 100 万個に 1 個の割合で通常よりも明るく、または暗く表示されるピクセルがある場合があります。

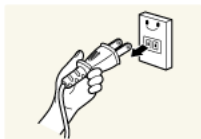
サイズごとのパネルのサブピクセル数: サブピクセル数 = 最大水平解像度 x 最大垂直解像度 x 3

例) 最大解像度が 1680 x 1050 の場合には、サブピクセルの数は 1680 x 1050 x 3 = 5,292,000 となります。

1-3 モニターの清掃

清掃

- 最先端の LCD モニターのパネルと外装は傷つきやすく、取り扱いに注意が必要です。モニターは、以下の手順に従って清掃します。



1. モニターと PC の電源をオフにします。
2. 電源ケーブルをモニターから取り外します。

⚠ 感電を防止するため、ケーブルはプラグを持って外し、濡れた手でケーブルに触れないようにします。



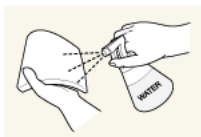
3. 少し湿らせてからよく絞った柔らかい布を使ってモニターを拭きます。



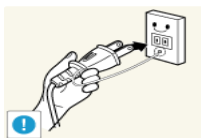
- 界面活性剤、アルコールまたは溶媒を含んだ洗剤は使用しないでください。外装の変色や割れ、パネルの塗装のはがれの原因となることがあります。



- 水または洗剤をモニターに直接かけないでください。液体がモニター内に浸透して、火災、感電または故障の原因になることがあります。



4. 少量の水で湿らせた柔らかい布を使ってモニターの外装を拭きます。



5. 清掃が終わったら、電源ケーブルをモニターに接続します。
6. モニターと PC の電源をオンにします。



保管時の注意

- 超音波加湿器を使用すると、光沢のある製品に白色のしみができることがあります。

⚠ モニター内部の清掃については、お近くのサービスセンターにお問い合わせください (有料サービス)。

1-4 安全のために

安全面での予防措置に使用されるアイコン

アイコン	名前	意味
	警告	この記号で示された予防措置に従わない場合には、重傷または死亡事故の原因となることがあります。
	警告	この記号で示された予防措置に従わない場合には、傷害事故または財産への損害が発生することがあります。

記号の意味



禁止行為。

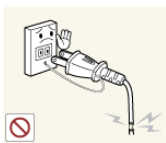


必ず従ってください。

電源に関する注意事項

 以下の図はあくまでもイメージです。

警告



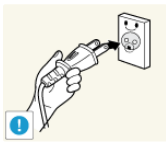
破損した電源コードまたはプラグ、がたつきのあるコンセントを使用しないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。

- 感電の原因となることがあります。



電源コードは、アースされたコンセントに接続してください(絶縁クラス1の機器のみ)。

- 感電またはケガの原因となることがあります。



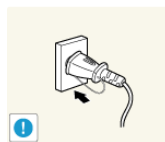
電源コードと製品は、熱源から離しておいてください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



ひとつのコンセントに複数の電気製品を接続しないでください。

- コンセントの過熱によって火災が発生することがあります。



電源プラグはしっかりと差し込んでください。

- 火災の原因となることがあります。



電源コードを無理に曲げたりねじったり、重い物をコードの上に置いたりしないでください。

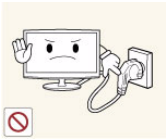
- 電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



電源プラグの先端またはコンセントにほこりが溜まった場合には、乾いた布で清掃してください。

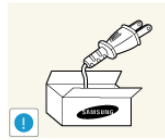
- 火災の原因となることがあります。

警告



製品の動作中に電源プラグを抜かないでください。

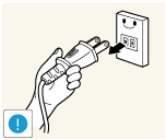
- 感電により製品が破損することがあります。



弊社が提供する電源コードのみを使用してください。

また、同梱された電源コードを他の電気機器で使用しないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



電源コードをコンセントから抜くときには、コードではなくプラグを持ってください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



電源プラグは、手の届きやすいコンセントに接続してください。

- 製品に問題が発生したときには、電源プラグを抜いて完全に電源をオフにする必要があります。製品の電源ボタンだけでは、電源を完全にオフにすることはできません。

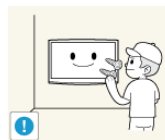
設置に関する注意事項

警告



火のついたろうそく、蚊取り線香またはタバコを製品の上に置いたり、製品を熱源の近くに設置したりしないでください。

- 火災の原因となることがあります。



製品を壁に設置する場合は、適切な工事業者に依頼してください。

- ケガの原因となることがあります。
- 指定されたウォールマウントを使用してください。



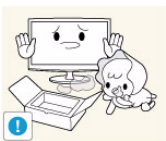
製品を本棚の中やクローゼットなど、換気の悪い場所に設置しないでください。

- 内部の過熱によって火災の原因になることがあります。



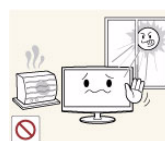
不安定な棚や傾いた場所など、安定しない場所や振動にさらされる場所などに製品を設置しないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 振動の多い場所で製品を使用すると、製品の寿命が短くなったり出火の原因となる場合があります。



製品の梱包に使用されているビニール袋は、お子様の手の届かないところに置いてください。

- お子様がビニール袋をかぶると、窒息することがあります。



直射日光の当たる場所、炎またはヒーターなどの熱源の近くに製品を置かないでください。

- 製品の寿命が短くなったり、火災の原因になったりする場合があります。



製品をお子様の手が簡単に届く高さに設置しないでください。

- お子様が製品に触れると、製品が落下してケガの原因となることがあります。
- 製品の前部は重いいため、水平で安定した面に設置してください。



ほこり、湿気（サウナなど）、油、煙または水（雨水）にさらされる場所に製品を設置したり、車の中に設置したりしないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。



食用油（大豆油など）を使用すると、製品の破損や変形の原因となります。製品をキッチンやキッチンカウンターの近くに設置しないでください。

警告



モニターを移動するときには落下に十分ご注意ください。

- 製品の故障またはケガの原因となることがあります。



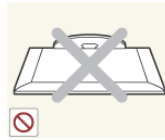
製品をデスクや棚などに設置する際には、製品がはみ出ないようにしてください。

- 製品が落下して、故障やケガの原因となることがあります。
- 製品に合ったサイズのキャビネットや棚を使用してください。



使用環境が大きく変化する場所に製品が設置されている場合には、周囲の環境によって性能に深刻な問題が出る場合があります。この場合には、弊社サービス エンジニアにご相談の上、製品を設置してください。

- 微細なほこり、化学物質、極端な高温または低温、高い湿度にさらされる場所、空港や駅など製品を長時間連続して使用する場所など。



製品の前面を下にして床に置かないでください。

- 製品のパネルが損傷する可能性があります。



製品を降ろすときには、ゆっくりと降ろしてください。

- 製品の故障またはケガの原因となることがあります。

ご使用の際の注意事項

警告



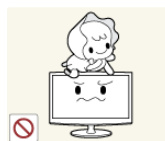
製品には高電圧が使用されているため、自身で分解、修理または改造を行ってはいけません。

- 火災または感電の原因となることがあります。
- 修理が必要な場合には、お客様相談ダイヤルまでご連絡ください。



製品から異音、焦げ臭い臭い、または煙が発生している場合には、直ちに電源から外してサービスセンターにご連絡ください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



お子様が製品にぶら下がったりよじ登ったりしないようにしてください。

- 製品が落下してケガや死亡事故の原因となることがあります。



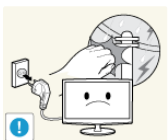
製品が落下したりケースが破損した場合には、電源をオフにして電源コードを切り離してください。お客様相談ダイヤルにご連絡ください。

- 火災または感電の原因となることがあります。



玩具や菓子などを製品の上に置かないでください。

- お子様がこれらの物を取ろうとして製品につかまると、製品自体やその上にある物が落下してケガや場合によっては死亡事故の原因となることがあります。



製品の上に物を落としたり、製品に衝撃を与えないでください。

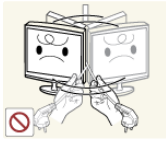
- 感電または火災の原因となることがあります。





電源コードまたはアンテナ ケーブルを使って製品を引っ張らないでください。

- ケーブルの損傷により、火災、感電または製品の故障の原因となることがあります。



電源コードまたは信号ケーブルだけを持って製品を持ち上げたり引っ張ったりしないでください。

- ケーブルの損傷により、火災、感電または製品の故障の原因となることがあります。



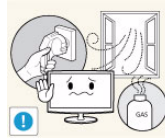
テーブルクロスやカーテンで換気を妨げないようにしてください。

- 内部の過熱によって火災の原因になることがあります。



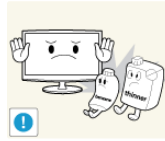
花瓶、植木鉢、飲み物、化粧品や薬品、または金属でできた物を製品の上に置かないでください。

- 水や異物が製品内に入った場合には、製品の電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜き、お客様相談ダイヤルにご連絡ください。
- 製品の故障、火災または感電の原因となることがあります。



ガス漏れがあった場合には、製品または電源プラグに触れずに直ちに換気を行ってください。

- 火花が発生して爆発または火災の原因となることがあります。



可燃性のスプレーや物を製品の近くで使用したり、製品の近くに置いたりしないでください。

- 爆発または火災の原因となることがあります。



箸、硬貨やヘアピン、可燃物を製品内 (通気口、ポートなど) に入れないでください。

- 水や異物が製品内に入った場合には、製品の電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜き、お客様相談ダイヤルにご連絡ください。
- 製品の故障、火災または感電の原因となることがあります。



弊社が提供する電源コードのみを使用してください。また、他の製品に付属されている電源コードを本製品に使用しないでください。

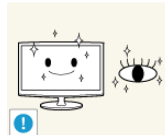
- 火災または感電の原因となることがあります。

警告



静止画像を長時間表示すると、画面上に残像が発生したり画面がぼやけたりする場合があります。

- 製品を長期間使用しない場合には、省電力モードを使用するか動画のスクリーンセーバーを設定してください。



製品の画面を長時間見るときには、定期的 (1 時間に 5 分程度) に休憩を入れることが重要です。

- こうすると、疲れ目が緩和されます。

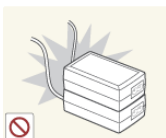


製品に適した解像度および周波数を設定します。

- 疲れ目の原因となることがあります。

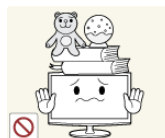


小さなアクセサリは、お子様の手の届かないところに置いてください。



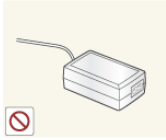
複数の DC 電源アダプタを一緒に置かないでください。

- 火災の原因となることがあります。



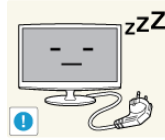
製品の上に重い物を載せないでください。

- 製品の故障またはケガの原因となることがあります。



DC 電源アダプタは、ビニール袋から取り出して使用してください。

- 火災の原因となることがあります。



旅行時など長期間製品を使用しない場合には、コンセントから電源コードを外してください。

- ほこりが溜まって過熱またはショートが発生したり、感電の原因となることがあります。



DC 電源デバイスの内部に水が入ったり、デバイスが濡れることのないようにしてください。

- 感電または火災の原因となることがあります。
- 屋外の雨や雪にさらされる場所で製品を使用しないでください。
- 床の清掃時に DC 電源アダプタが濡れないようにしてください。



スタンドだけを持った状態で、製品のを上下反対にしないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。



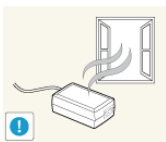
複数の DC 電源アダプタを一緒に置かないでください。

- 火災の原因となることがあります。

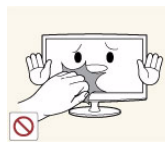


製品の近くで加湿器またはコンロを使用しないでください。

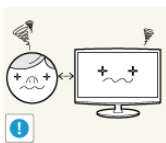
- 感電または火災の原因となることがあります。



DC 電源アダプタは、換気のよい場所に置いてください。



長時間使用した後は表示パネルが高温になっているため、製品に触れないようにしてください。



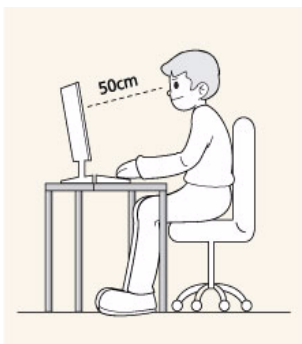
製品を近すぎる位置から見続けると、視力が低下することがあります。



製品の角度またはスタンドの高さを調整するときには注意してください。

- 手や指が挟まれるとケガをすることがあります。
- 製品を傾け過ぎると、落下してケガの原因となることがあります。

製品を使用するときには正しい姿勢を保つこと



次の事項を守り、正しい姿勢で製品を使用するようにしてください。

- 背中を伸ばします。
- 眼は画面から 45~50 cm の距離になるようにします。顔を画面の方に向けて、画面を見下ろすようにします。
- この製品を使用するときには、正しい姿勢を保ってください。
- 画面に光が反射しないように製品の角度を調整します。
- 肘が 90 度になるようにし、前腕が手の甲と同じ高さになるようにします。
- 肘を 90 度に保ちます。
- 膝を 90 度以上の角度に保ちながらかかとを床に着け、腕は心臓の高さより低く保つようにします。

2 製品の設置

2-1 パッケージ内容

- 製品を開梱し、以下の内容がすべて含まれていることを確認します。
- 製品を運ぶときに必要になりますので、梱包されていた箱は保管しておいてください。
- 不足している品目がある場合には、販売店にお問い合わせください。
- オプション品の購入については、お近くの販売店にお問い合わせください。

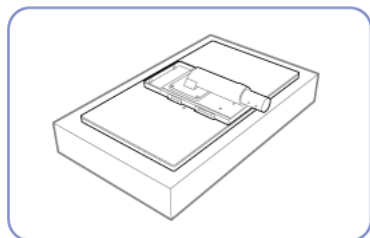


モニター

付属品			
			
クイック セットアップ ガイド	保証書 (含まれていない地域もあります)	ユーザー マニュアル	DC power アダプタ
			
電源ケーブル	スタンド基部		
オプション部品 販売していない地域もあります。			
			
LAN ケーブル	DVIケーブル (地域によっては同梱されています)	ステレオケーブル	マウス (USB)
			
キーボード	ヘッドホン	D-Sub ケーブル	USB ケーブル
			
RS-232C ケーブル			

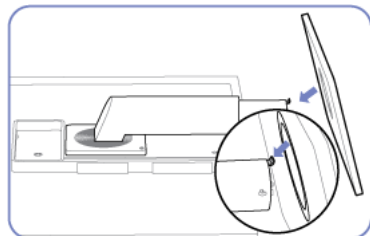
- 色と外観は製品によって異なる場合があります、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

2-2 スタンドの取り付け

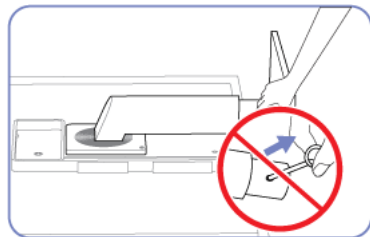


製品を保護するために柔らかい布をテーブルの上に置き、前面が下になるように布の上に製品を置きます。

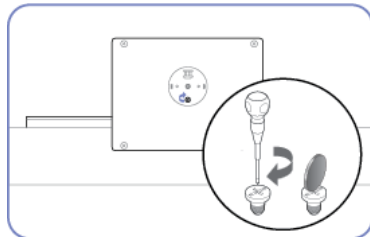
スタンドを矢印の向きに回します。



スタンドベースを、矢印の方向に向かってスタンドに挿入します。



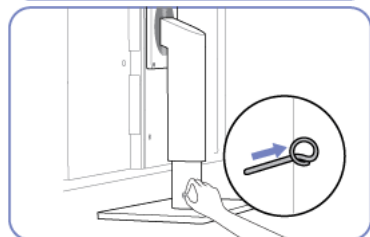
スタンドの取り付けが完了するまで、固定ピンを取り外さないでください。



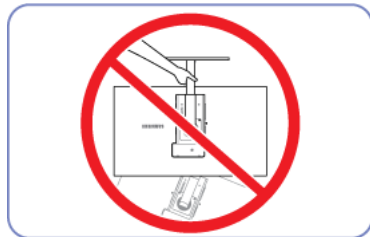
ベースの下部でネジをしっかりと締めます。



スタンドの取り付け後、製品を直立させます。



固定ピンを取り外し、スタンドを調整することができます。



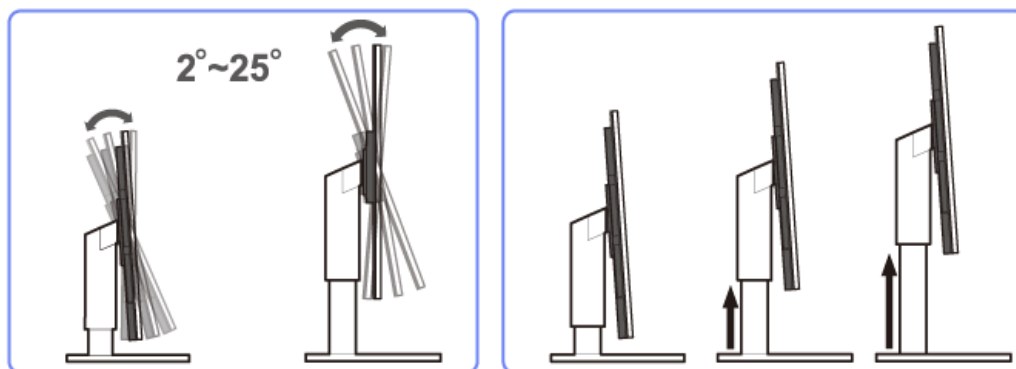
- 警告

スタンドのみを持って、製品を逆さまにしないでください。

- 分解は、組み立てと逆の手順で行います。
- 色と外観は製品によって異なる場合があります、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

2-3 製品の傾きと高さの調整

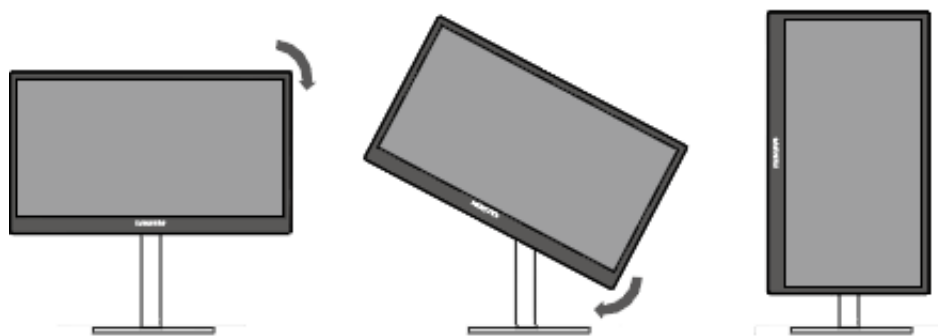
■ 部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



- 高さを調整するには、固定ピンを取り外します。
- モニターの傾きと高さを調整することができます。
- 製品の上部中央を持ち、慎重に高さを調整します。

2-4 モニター画面の回転

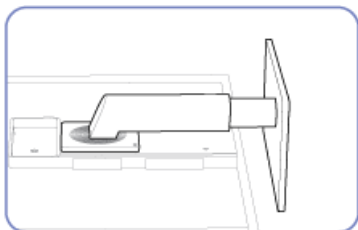
下図に示すように、モニターを回転させることができます。



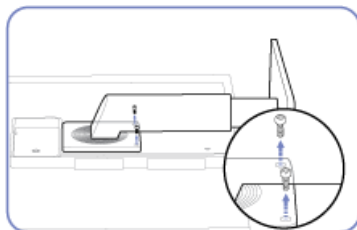
- モニターを回転させる前に、スタンドを完全に伸張させてください。
- スタンドを完全に伸張させずにモニターを回転させると、モニターの角が床にぶつかり、損傷することがあります。
- モニターを反時計回りに回転させないでください。モニターが損傷することがあります。

2-5 ウォールマウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け

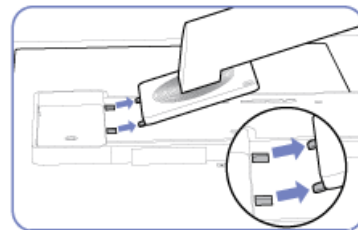
取り付けの前に



平らな場所に保護用の布またはクッションを置きます。次に、布またはクッションの上に、画面を下にして製品を置きます。

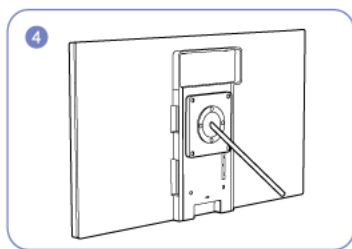
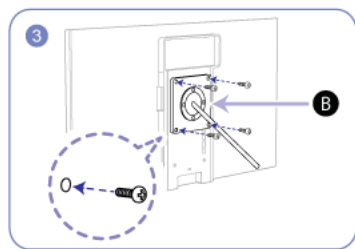
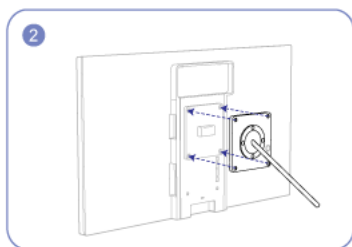
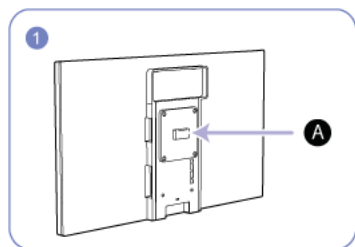


製品の背面にある 4 本のネジを取り外します。



スタンドを持ち上げて取り外します。

ウォールマウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け



A ここにウォールマウントキットまたはデスクトップ

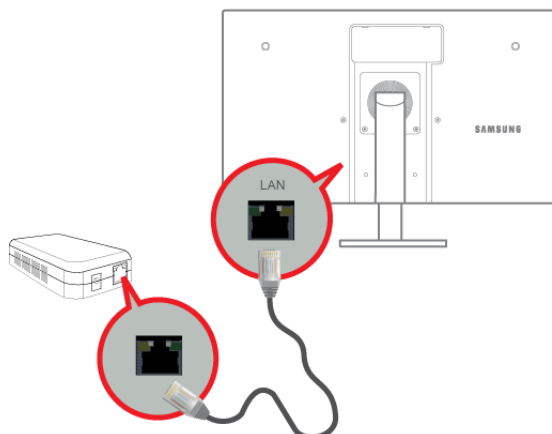
B ブラケット (別売り)

溝と溝を合わせ、ネジをしっかりと締めて、製品のブラケットと取り付けるウォールマウントキットまたはデスクトップスタンドの対応する部品を固定します。

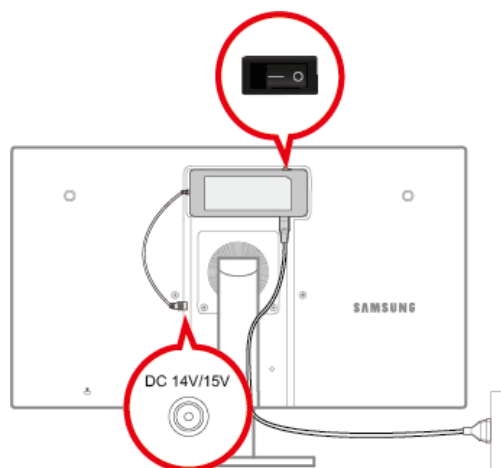
- 標準の長さよりも長いネジを使用すると、製品の内部コンポーネントを損傷することがあります。
- VESA 規格に準拠していないウォールマウントに必要なネジの長さは、仕様によって異なります。
- VESA 規格に準拠していないネジを使用しないでください。ウォールマウントキットまたはデスクトップスタンドの取り付け時に過度な力を加えないでください。製品が落下または破損し、傷害の原因になる場合があります。Samsung では、不適切なネジを使用したこと、または、ウォールマウントキットまたはデスクトップスタンドの取り付け時に過度な力を加えたことが原因で発生した損傷または傷害について、一切責任を負いません。
- Samsung では、指定以外のウォールマウントキットを使用したこと、または、ご自身でウォールマウントキットを取り付けようとしたことが原因で発生した製品の損傷または傷害について、一切責任を負いません。
- 製品を壁掛けにする場合には、壁から 10 cm 以上離して取り付け可能なウォールマウントキットをご購入ください。
- 規格に準拠したウォールマウントキットを使用してください。

2-6 ネットワークへの接続

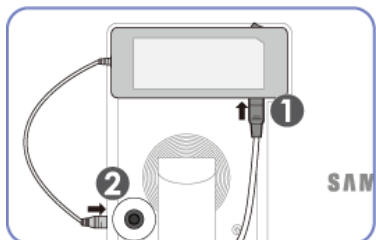
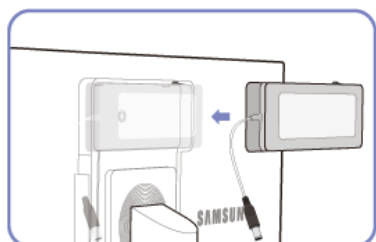
📌 接続部分は製品のモデルによって異なる場合があります。



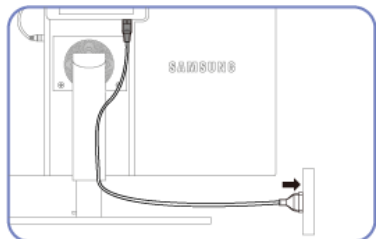
- 製品の [LAN] ポートとネットワークを LAN ケーブルを使用して接続します。
 - 📌 2つの [LAN] ポートは、インターネット ハブとして動作するように設計されています。一方のポートを入力側として、もう一方のポートを出力側として製品を外部インターネット デバイスに接続するのに使用できます。どちらのポートも、入力と出力のどちらにも使用できます。



スイッチを上にして、DC 電源アダプタを溝に押し込みます。
- カチッという音が出るまで、アダプタを押し込みます。

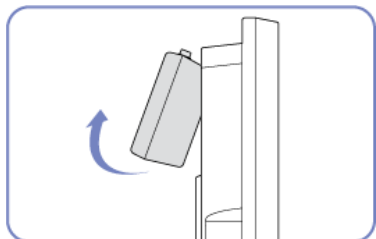


電源ケーブルを DC 電源アダプタに接続します。次に、DC 電源アダプタを製品に接続します。



電源ケーブルをコンセントに接続します。

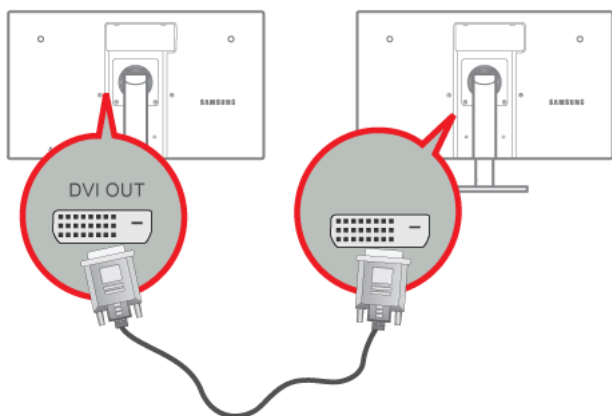
DC 電源アダプタの取り外し



DC 電源アダプタを取り外すには、図に示すように、アダプタの下部を外側に持ち上げます。

2-8 別のモニターへの接続

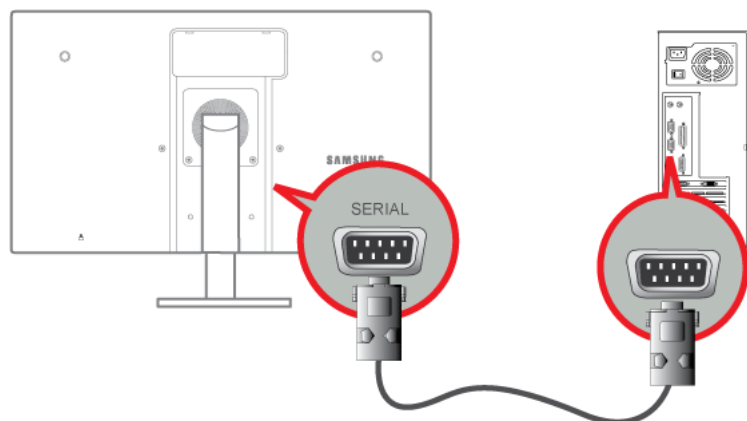
📌 接続部分は製品のモデルによって異なる場合があります。



• 製品の [DVI OUT] ポートとモニターの DVI ポートを DVI ケーブルを使用して接続します。

📌 [DVI IN] 端子はデジタル (DVI) 専用モデルのみにあります。(プレゼンテーション用)

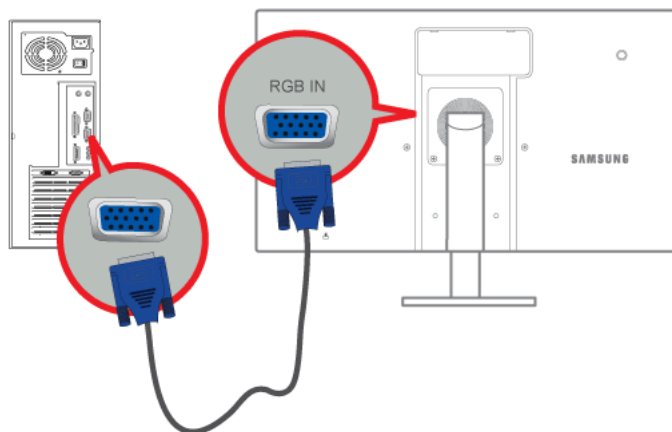
2-9 シリアルケーブルの接続



- RS-232C 接続 (インターフェイス) をサポートするデバイスを接続できます。

2-10 PC との接続

🔗 接続部分は製品のモデルによって異なる場合があります。

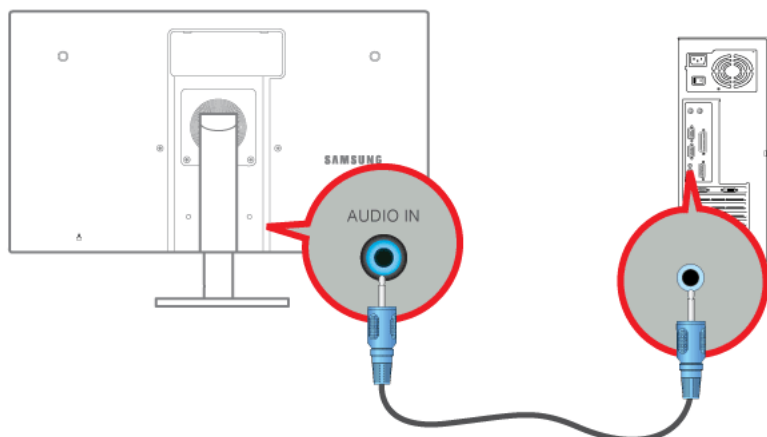


• 製品の [RGB IN] ポートと PC の [D-Sub] ポートを D-Sub ケーブルで接続します。

🔗 [RGB IN]ポートを使用して、モニターをPCに直接接続します。

2-11 ステレオ ケーブルの接続

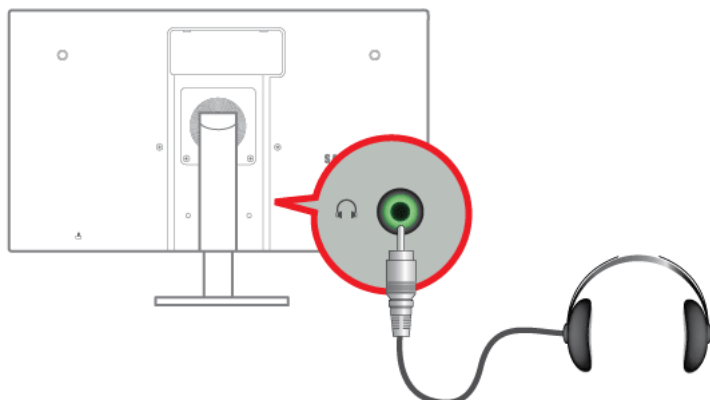
🔗 接続部分は製品のモデルによって異なる場合があります。



- モニター背面の [AUDIO IN] ポートを PC のサウンドカードに接続します。

2-12 ヘッドフォンの接続

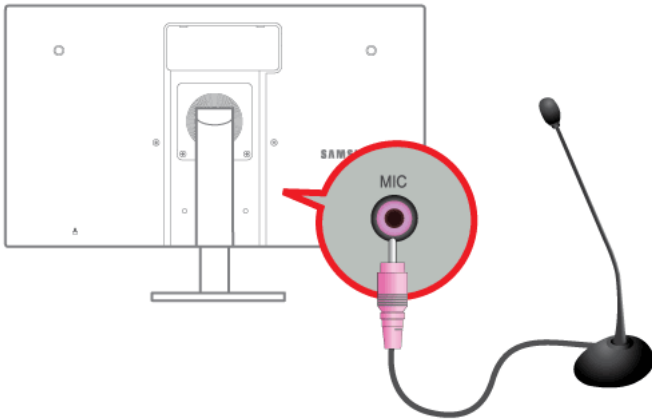
🔗 接続部分は製品のモデルによって異なる場合があります。



- ヘッドフォン接続端子にヘッドフォンを接続します。
 - 🔗 モニターには、ヘッドフォンを接続することができます。

2-13 マイクの接続

🔗 接続部分は製品のモデルによって異なる場合があります。



• マイクのケーブルをモニターの MIC ポートに接続します。

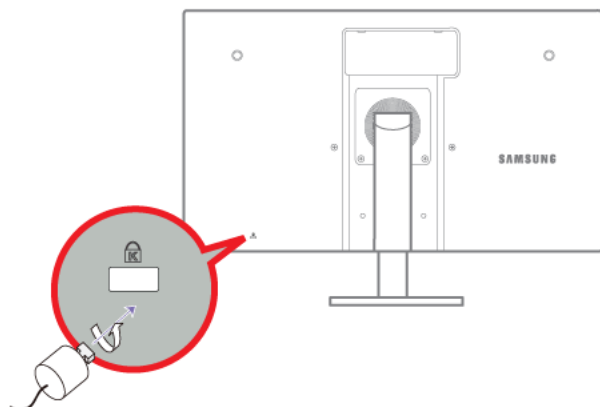
🔗 モニターには、マイクを接続することができます。

2-14 Kensington ロック

盗難防止用ロックで、公共の場所でも本製品を安心してご使用いただくことができます。

ロック装置の形状およびロック方法は、メーカーによって異なります。詳細は、お使いの盗難防止用ロック装置に付属されたユーザーガイドを参照してください。

ロック デバイスは別売りです。

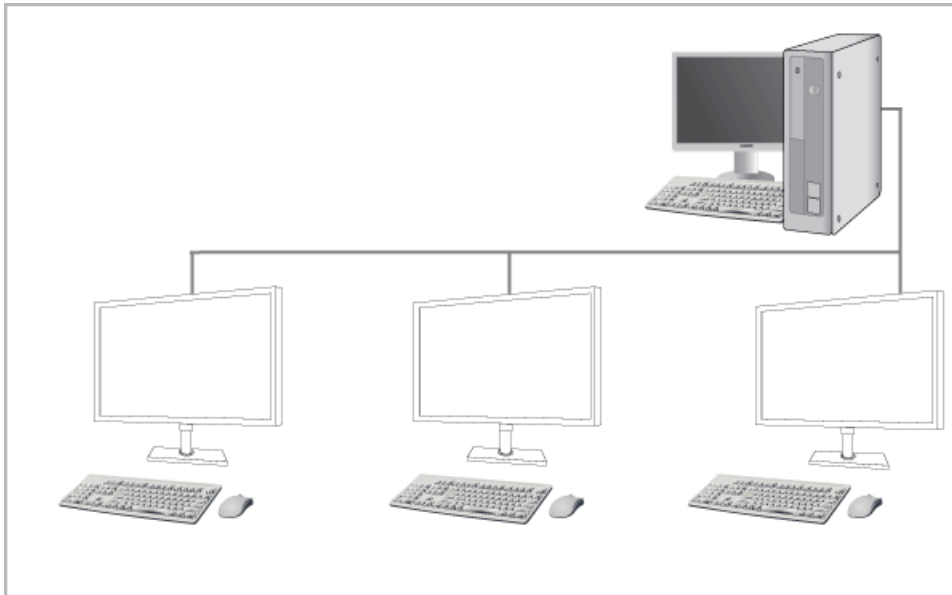


ロック デバイスは別売りです。

1. 盗難防止用ロック装置のケーブルを、机などの重量物に固定します。
 2. ケーブルの一方の端を、他方の端のループに通します。
 3. ロック装置を、本製品の背面にある盗難防止用ロック装置用のスロットに挿入します。
 4. ロック装置をロックします。
- 🔑 • 盗難防止用ロック装置は、別売です。
 - 詳細は、お使いの盗難防止用ロック装置に付属されたユーザーガイドを参照してください。
 - 盗難防止用ロック装置は、家電小売店やオンラインでご購入いただけます。

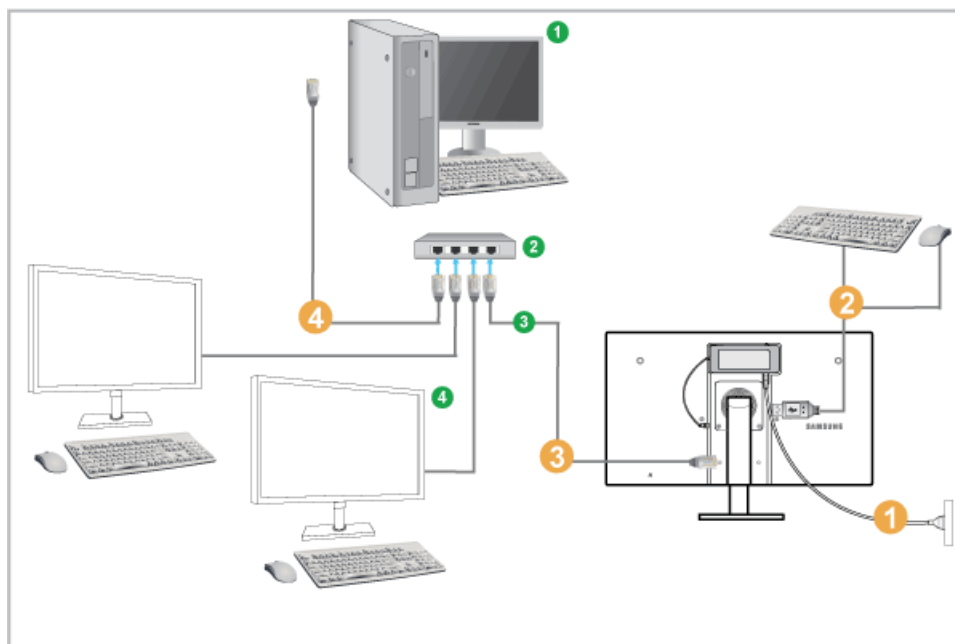
3 製品の使用

3-1 PC over IP とは?



- このモニターは、エンコードされてネットワーク (LAN) 経由で送信されるサーバー PC の画面を表示するだけでなく、従来のモニターと同様にコンピュータの画面を表示します。このモニターは、通常の RDP よりもはるかに向上した性能を持っており、高画質のグラフィック作業に適した 1920*1080 ピクセルの解像度をサポートするように設計されています。
- このモニターでは、サーバー PC に接続し、インターネットにアクセスしてドキュメントの作成および画像の編集を行えるようにすることにより、セキュリティを強化することができます。これに加えて、新しいコンセプトのこのモニターでは DSC、MP3、外部ストレージデバイスなどの外部入力信号デバイスを USB ポートに接続することで、音楽やビデオの再生およびゲームを楽しむことができます。
- このモニターは、DVI OUT ポートを使ってデバイスを接続してネットワーク ディスプレイ画面を別の表示デバイスに表示することにより、ビデオ会議や共同作業などのさまざまな分野に活用することができます。

3-2 LANケーブルを使用してホストPCに接続する



① ホストPC

② ハブ

③ LAN ケーブル

④ モニター

① 電源コードをモニター背面の電源端子に接続します。

② いずれかのUSBポートにマウスとキーボードを接続します。

③ モニター背面のLANポートとハブを接続します。

④ ハブとホストPCのLANポートを接続します。

🔑 ホストPCにはIPアドレスが割り当てられている必要があります。


LANの接続とIPアドレスの設定が完了したら、ホストPCの画面をモニター上に表示することができるようになります。

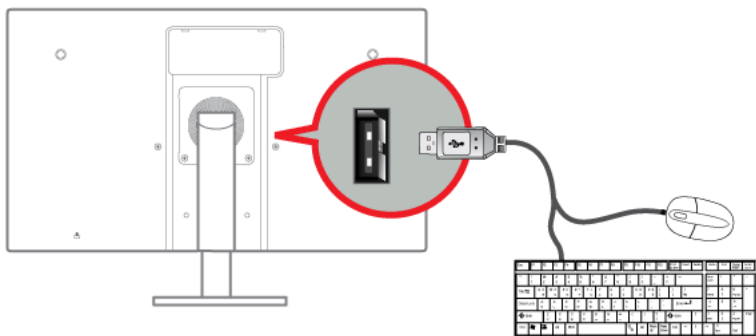
USBポートを使用して、外部機器（DSC、MP3、外部記憶装置など）を接続します。


多数のクライアントデバイスを1台のホストPCに接続できるのは、vmwareのような仮想化ソリューションがホストPCにインストールされている場合のみに限られます。

3-2-1 USB の接続

🔑 ・ 接続 モデルによって異なる場合があります。

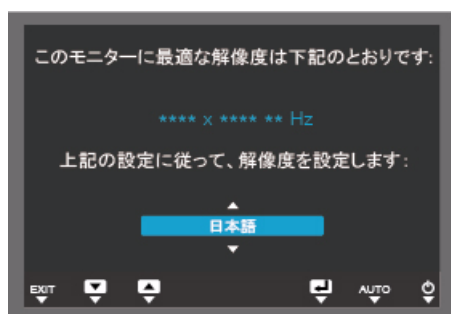
-  ポートは、USB 2.0 までの規格に対応しています。
VMware View 4.6 以降が必要です。 データ転送速度は、ネットワーク環境によって異なる場合 があります。



- マウス、キーボード、または外部機器（たとえばDSC (デジタル カメラ)、MP3、外部記憶装置など）などのUSB機器を接続します。
 - マウス、キーボード、メモリスティック、外部ハードディスクドライブなどのUSB機器を、PCではなくモニターの  USB ポートに接続して使用することができます。Client モードでのみ、このポートに USB デバイスを接続して使用することができます。

3-3 プラグ & プレイ

製品を購入後に電源をオンにすると、最適な解像度設定についてのメッセージが画面に表示されます。言語と最適な解像度を選択します。



▲/▼：言語はこのボタンで選択できます。

MENU：このボタンを押すと、メッセージが消えます。

- 最適な解像度に設定されていない場合にはこのメッセージが最大 **3** 回表示されます。
- 最適な解像度に設定するには。
 - PC がオフになっている場合には、製品を接続して PC の電源をオンにします。
 - デスクトップを右クリックして、ポップアップメニューから [プロパティ] を選択します。
 - [設定] タブで最適な解像度を設定します。

3-4 標準信号モード表

■ LCD モニターには、CDT モニターと異なり、パネル固有の特性によって画面サイズに応じて画質が最も良くなる最適な解像度があります。

したがって、パネルサイズに応じた最適な解像度が設定されていない場合には、画質が低下します。製品を最適な解像度に設定することをお勧めします。

PC からの信号が以下のいずれかの標準信号モードになっている場合には、画面は自動的に設定されます。ただし、PC からの信号が以下の信号モードのいずれでもない場合には、画面に何も表示されないか、電源 LED のみが点灯することがあります。この場合には、グラフィック カードのユーザー マニュアルに従って以下のように設定してください。

表示モード	水平周波数 (KHZ)	垂直周波数 (HZ)	ピクセルクロック (MHZ)	同期極性 (H/V)
IBM、640 x 350	31.469	70.086	25.175	+/-
IBM、720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+
MAC、640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
MAC、832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
MAC、1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-
VESA、640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
VESA、640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA、640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA、800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA、800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA、800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA、800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA、1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA、1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA、1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA、1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 800	49.702	59.810	83.500	-/+
VESA、1280 x 800	62.934	74.934	106.500	-/+
VESA、1280 x 960	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA、1440 x 900	55.935	59.887	106.500	-/+
VESA、1440 x 900	70.635	74.984	136.750	-/+
VESA、1680 x 1050	65.290	59.954	146.250	-/+

水平周波数

画面上の左端から右端までの1本の線を走査するのにかかる時間を水平サイクルと呼び、水平サイクルの逆数を水平周波数と呼びます。水平周波数はkHz単位で表示します。

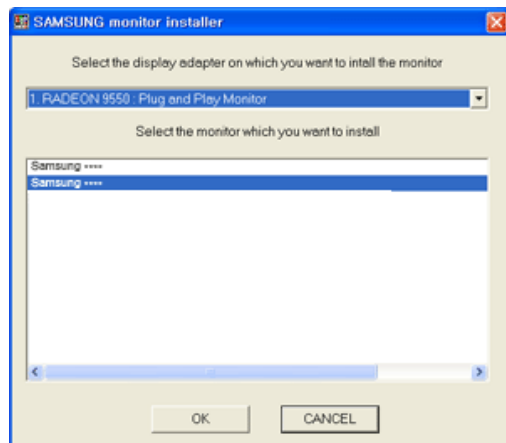
垂直周波数

人が映像を認識するためには、パネルは毎秒数十回同じ映像を画面上に表示する必要があります。この周波数を垂直周波数と呼びます。垂直周波数はHz単位で表示します。

3-5 デバイス ドライバのインストール

🔗 デバイス ドライバをインストールすると、製品に適した解像度と周波数を設定することができます。デバイス ドライバは、製品に付属する CD-ROM に含まれています。付属のドライバ ファイルが破損している場合には、Samsung Electronics の Web サイト (<http://www.samsung.com>) からドライバをダウンロードしてください。

1. ドライバのインストール CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. [Windows Driver] をクリックします。
3. 画面に表示される指示に従って以降のインストール手順を完了させます。
4. モデルの一覧からご使用のモデルを選択します。

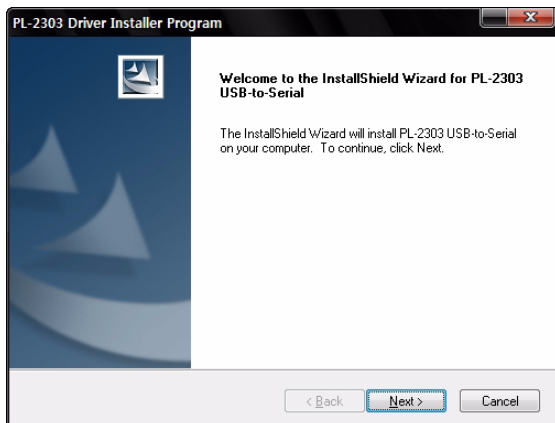


5. 適切な解像度と画面のリフレッシュ レートが [コントロール パネル] の設定に表示されているか確認します。詳細については、Windows オペレーティング システムについてのマニュアルを参照してください。

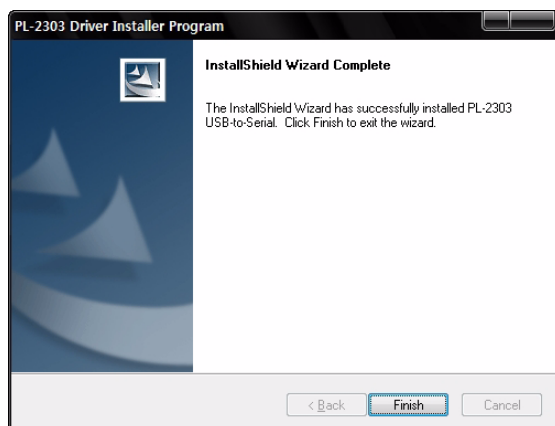
3-6 USB-to-Serial ドライバのインストール

🔗 サーバー PC にドライバをインストールします。

1. ドライバのインストール CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. [USB-SERIAL Driver] をクリックします。
3. Next をクリックします。

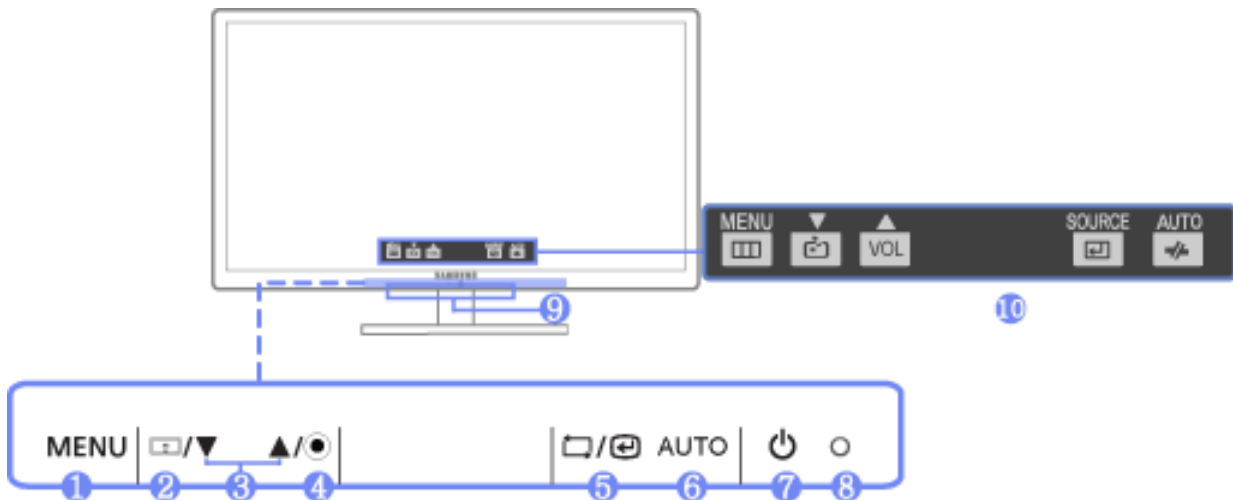









4. [Finish] をクリックします。



3-7 製品の操作ボタン

製品の操作ボタン



	アイコン	説明
①	MENU	<p>このボタンを押して、OSD (On Screen Display) を表示します。</p> <p>このボタンは、OSD を終了したり、上位の OSD メニューに戻るときにも使用します。</p> <p>* キー ロック</p> <p>この機能では、製品前面のボタンをロックして、現在の設定が他のユーザーによって変更されることを防ぎます。</p> <p>ロック: MENU ボタンを 5 秒間押したままにします。キー ロック モードが有効になります。</p> <p>ロック解除: キー ロックが有効のときに、MENU ボタンを 5 秒間押したままにします。キー ロック モードが無効になります。</p> <p> キー ロック モードが有効になっているときは、製品前面のすべてのボタンが無効になります。</p>
②		<p>ホスト PC にクライアント モードで接続するには、ボタンを少なくとも 2 秒間押します。ホスト PC をオフにするには、ホスト PC に接続された状態で、ボタンを 2 秒以上押します。</p>
③	▲/▼	<p>これらのボタンを使用して、メニューを移動したり OSD の値を調整したりします。</p>
④		<p>OSD がスクリーンに表示されていない場合は、このボタンを押して音量を調整します。</p>
⑤		<p>このボタンを使用して機能を選択します。</p> <p>OSD がオフの時には、 を押して接続したデバイスからのビデオ信号を選択します。 ( ボタンを押して入力モードを変更すると、画面の左上に現在のモードを示すメッセージが表示されます)</p>
⑥	AUTO	<p><アナログ> モードでは、このボタンを自動調整に使用します。 <Client> モードでは、このボタンはサーバーからの切断に使用されます。</p>
⑦		<p>このボタンで、製品のオン/オフを切り替えます。</p>

	アイコン	説明
8	○ (電源 LED)	<p>この LED は、製品が正常に動作しているときには点灯します。</p> <p>省電力機能の詳細については、「詳細情報」の「省電力機能」を参照してください。製品を長期間使用しないときには、電源コードを外して消費電力を最小限にすることをお勧めします。</p>
9	スピーカー	<p>モデル コードの 11 桁目が M の場合は、スピーカーが内蔵されています。 E.g.) LF22NEBHBMEN</p>
10	OSD Guide	<ul style="list-style-type: none"> • モニターのいずれかのボタンを押します。画面に OSD Guide が表示されます。 • モニター前面のボタンを押すと OSD Guide が表示されてボタンの機能が表示され、続いて押したボタンに対するメニューが表示されます。 • メニューに移動するには、モニター前面のボタンを再度押します。 • OSD Guide は、機能およびモデルによって異なることがあります。実際の製品を参照してください。

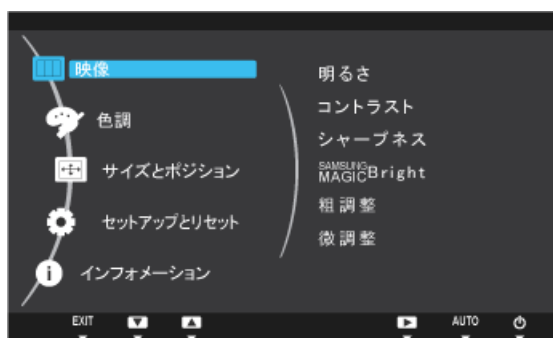
3-8 画面調整メニュー (OSD:On Screen Display) の使用

画面調整メニュー (OSD:On Screen Display)



トップメニュー	下位メニュー				
映像	明るさ	コントラスト	シャープネス	SAMSUNG MAGIC Bright	粗調整
	微調整				
色調	SAMSUNG MAGIC Color	赤	緑	青	色温度
	ガンマ				
サイズとポジション	H-ポジション	V-ポジション	メニューのH-ポジション	メニューのV-ポジション	
セットアップとリセット	リセット	言語	表示時間	メニューの透明度	
インフォメーション	-				

☞ モニターの機能はモデルによって異なることがあります。実際の製品を参照してください。

映像








メニュー	説明
明るさ	画面の明るさを制御します。 ☞ このメニューは、<SAMSUNG MAGIC Bright> が <ダイナミックコントラスト> モードに設定されているときは使用できません。
コントラスト	画面上に表示される画像のコントラストを調整します。 ☞ <ul style="list-style-type: none"> このメニューは、<SAMSUNG Bright> が <ダイナミックコントラスト> モードに設定されているときは使用できません。 このメニューは、<SAMSUNG MAGIC Color> が <フル> モードまたは <インテリジェント> モードに設定されているときは使用できません。
シャープネス	画面上に表示される画像の細かい部分の明確さを調整します。 ☞ <ul style="list-style-type: none"> このメニューは、<SAMSUNG MAGIC Bright> が <ダイナミックコントラスト> モードに設定されているときは使用できません。 このメニューは、<SAMSUNG MAGIC Color> が <フル> モードまたは <インテリジェント> モードに設定されているときは使用できません。

メニュー	説明
<p>SAMSUNG MAGIC Bright</p>	<p>プリセットされている画像設定は、文書の編集、インターネットサーフィン、ゲーム、スポーツ観戦や映画鑑賞などのさまざまなユーザー環境に最適な設定となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <ユーザー 調整> プリセットされた画像モードで問題がある場合には、このモードを使用して<明るさ>と<コントラスト>を直接調整できます。 • <標準> このモードでは、インターネットサーフィン(テキスト+画像)に適した画像設定となります。 • <ゲーム> このモードでは、大量のグラフィクスがあつて画面を高速で更新する必要があるゲームに適した画像設定となります。 • <シネマ> このモードでは、TVと同様にエンターテイメント(映画、DVDなど)に最適な明るさとシャープネスとなります。 • <ダイナミックコントラスト> 画像の明暗のバランスが全体的にとれるように、画像のコントラストを自動的に制御します。
<p>粗調整</p>	<p>画面上のノイズ(垂直線)を取り除きます。</p> <p>調整を行うと、画面の位置が変わることがあります。この場合には、<H-ポジション>メニューを使用して画面が表示パネルの中央に表示されるように調整します。</p> <p> この機能は<アナログ>モードでのみ使用できます。</p>
<p>微調整</p>	<p>画面上のノイズ(水平線)を取り除きます。</p> <p><微調整>機能でノイズを完全に取除けない場合には、<粗調整>を調整してから再度<微調整>機能を使用します。</p> <p> この機能は<アナログ>モードでのみ使用できます。</p>

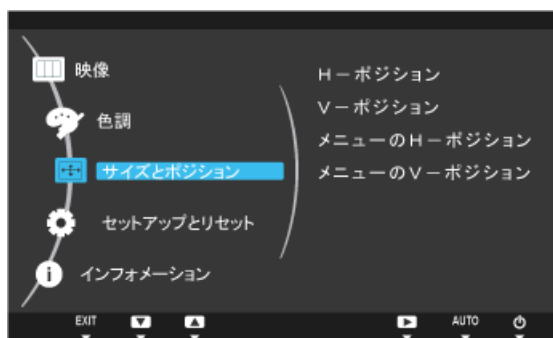
色調



メニュー	説明
SAMSUNG MAGIC Color	<p>Samsung Electronics が開発した専用のデジタル映像画質向上テクノロジーを使用して、画像の品質を変えずに自然な色をより明確に表現します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <オフ> - <SAMSUNG MAGIC Color> 機能をオフにします。 • <デモ> - <SAMSUNG MAGIC Color> で処理された画像と元の画像を比較することができます。 • <フル> - 肌の色などがよりはっきりした画像を表示します。 • <インテリジェント> - 肌の色に対応する部分以外の画像の彩度を向上させます。
赤	<p>お好みに応じて赤色の値を調整できます。</p> <p> このメニューは、<SAMSUNG MAGIC Color> が <フル> モードまたは <インテリジェント> モードに設定されているときは使用できません。</p>
緑	<p>お好みに応じて緑色の値を調整できます。</p> <p> このメニューは、<SAMSUNG MAGIC Color> が <フル> モードまたは <インテリジェント> モードに設定されているときは使用できません。</p>
青	<p>お好みに応じて青色の値を調整できます。</p> <p> このメニューは、<SAMSUNG MAGIC Color> が <フル> モードまたは <インテリジェント> モードに設定されているときは使用できません。</p>
色温度	<p>お好みに応じて色温度を設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <青色系2> - 画面の色温度を強い寒色に設定します。 • <青色系1> - 画面の色温度を寒色に設定します。 • <標準> - 画面の色温度を標準に設定します。 • <赤色系 1> - 画面の色温度を暖色に設定します。 • <赤色系 2> - 画面の色温度を強い暖色に設定します。 • <ユーザー 調整> - 色温度を手動で設定するにはこのメニューを選択します。 プリセットされた色温度が好みでない場合には、カラー効果の色を手動で調整することができます。 <p> このメニューは、<SAMSUNG MAGIC Color> が <フル> モードまたは <インテリジェント> モードに設定されているときは使用できません。</p>
ガンマ	<p>このメニューを使用して、中程度の明るさの色強度を変更することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <モード1> - <モード2> - <モード3>

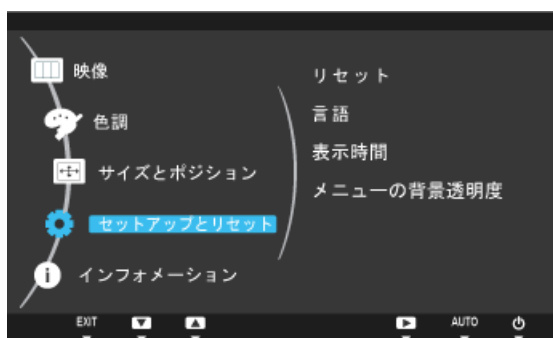
 この機能は <SAMSUNG MAGIC Bright> が <ダイナミックコントラスト> または <シネマ> モードに設定されているときには使用できません

🔍 サイズとポジション



メニュー	説明
H-ポジション	画面上の表示領域を水平方向に動かします。 <input type="checkbox"/> この機能は <アナログ> モードでのみ使用できます。
V-ポジション	画面上の表示領域を垂直方向に動かします。 <input type="checkbox"/> この機能は <アナログ> モードでのみ使用できます。
メニューのH-ポジション	OSD の水平位置を調整できます。
メニューのV-ポジション	OSD の垂直位置を調整できます。

⚙️ セットアップとリセット



メニュー	説明
リセット	この機能を使用して、表示される画質と色の設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> <いいえ> - <はい>
言語	OSD の言語を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 日本語, English <input type="checkbox"/> 選択された言語は、製品の OSD にのみ適用されます。この設定は、PC の他の機能には影響を与えません。

メニュー	説明
表示時間	OSD は、ユーザーが一定時間操作をしないと自動的に消えます。 OSD が消えるまでの時間を決めることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • <5 秒> - <10 秒> - <20 秒> - <200 秒>
メニューの透明度	OSD の透明度を調整できます。 <ul style="list-style-type: none"> • <オフ> - <オン>

① インフォメーション



メニュー	説明
インフォメーション	PC の周波数および解像度の設定を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ アナログ インターフェイスのみのモデルでは、<インフォメーション> に <アナログ/Digital> は表示されません。

4 ソフトウェアのインストール

4-1 PCoIP

OSD (On Screen Display)

OSD (On Screen Display) のローカル GUI は、デバイスに電源が投入され PCoIP セッションが行われていないときに表示されます。

OSD は、接続画面からホスト デバイスに接続する機能を提供します。スタートアップ時にユーザーに対して接続画面が表示されます。

接続画面では、オプション ウィンドウにもアクセスすることができます。

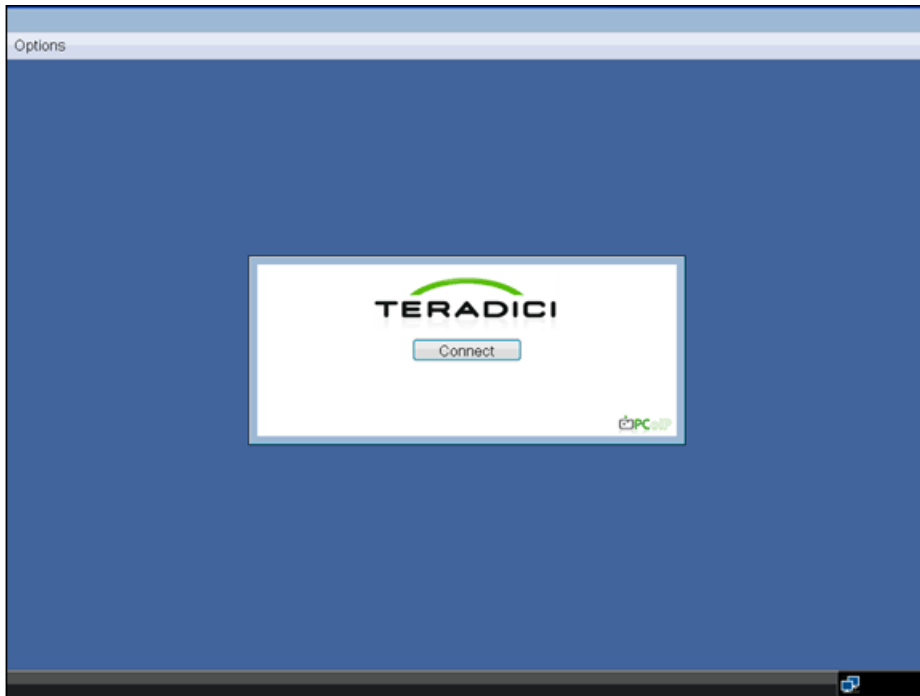
オプション ウィンドウは、接続画面のオプション ボタンからアクセスすることができます。ポータルオプションを変更するには、管理パスワードが必要です。

接続画面

接続画面は、スタートアップまたは自動再接続を管理するためのポータルが設定されている場合を除いて、スタートアップ時に表示されます。

<Connect> ボタンの上に表示されるロゴは、管理 Web インターフェイスから代替の画像をアップロードすると変更できます。

図 2-1:OSD 接続画面



Connect ボタン

接続ボタンを選択すると、セッション設定に応じて PCoIP または RDP セッションが開始されます。PCoIP 接続が保留されているときは、OSD のローカル GUI が「Connection Pending」のメッセージを表示します。接続が確立されると、OSD のローカル GUI が消えてセッションイメージに切り替わります。

図 2-2:OSD 接続画面 (接続中)



OSD <Options> メニュー

<Options> メニューを選択すると、選択リストが示されます。OSD の <Options> メニューには、以下の項目があります。

- <Configuration>
- <Diagnostics>
- <Information>
- <User Settings>
- <Password>

いずれかの選択肢を選択すると、設定ウィンドウが表示されます。

図 2-3:OSD <Options> メニュー




<Configuration> ウィンドウ

<Configuration> ウィンドウでは、ポータル動作と環境との相互作用の方法を定義するための設定を行うウィンドウ タブに管理者がアクセスできます。

<Configuration> ウィンドウには、以下のタブがあります。

- <Network>
- <Label>
- <Connection Management>
- <Discovery>
- <Session>
- <RDP>
- <Language>
- <OSD>
- <Reset>
- <VMware View>

各タブには、管理者がそのタブ上で行った設定の変更を適用またはキャンセルするための <OK>、<Cancel>、<Apply> ボタンがあります。

 一部の PCoIP デバイスではパスワードによる保護が無効になっており、管理 Web ページにログインしたり OSD パラメータにアクセスしたりするのにパスワードが不要な場合があります。ログイン ページおよび OSD のパスワード保護は、PCoIP 管理コンソールから有効にすることができます。

<Network> タブ

<Network> タブで、管理者はポータル ネットワークのパラメータを設定することができます。


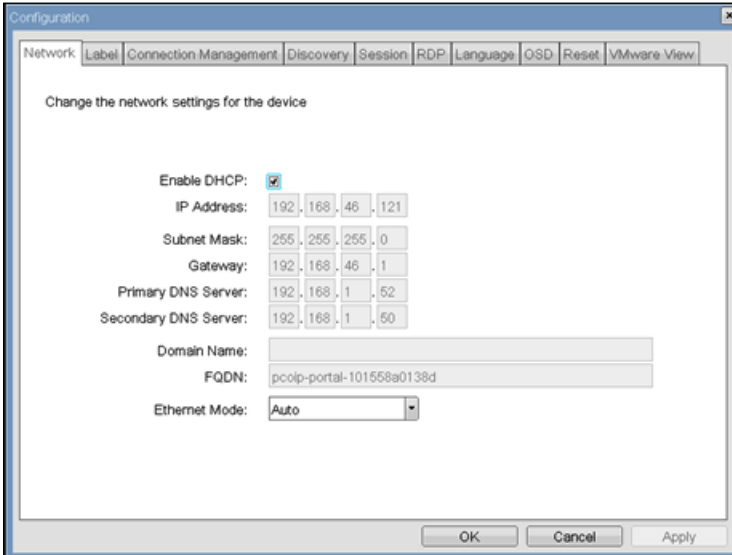
 ネットワーク パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-4:<Network> 設定



- <Enable DHCP>

<Enable DHCP> が有効になっているときには、デバイスは DHCP サーバーに問い合わせ、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ IP アドレスおよび DNS サーバーの割り当てを受けます。無効になっているときには、デバイスでこれらのパラメータを主導で設定する必要があります。

- <IP Address>

[IP アドレス] フィールドは、デバイスの <IP address> です。DHCP が無効になっている場合には、このフィールドは必須項目です。DHCP が有効になっている場合には、このフィールドは編集不可になっています。このフィールドは有効

な IP アドレスでなければならず、無効な IP アドレスが入力された場合には OSD が管理者に対して修正を求めるプロンプトを表示します。

- <Subnet Mask>

<Subnet Mask> フィールドは、デバイスのサブネット マスクです。DHCP が無効になっている場合には、このフィールドは必須項目です。

DHCP が有効になっている場合には、このフィールドは編集不可になっています。このフィールドは有効なサブネット マスクでなければならず、無効なサブネット マスクが入力された場合には OSD が管理者に対して修正を求めるプロンプトを表示します。

- <Gateway>

[ゲートウェイ] フィールドは、デバイスの <Gateway> です。DHCP が無効になっている場合には、このフィールドは必須項目です。DHCP が有効になっている場合には、このフィールドは編集不可になっています。

- <Primary DNS Server>

<Primary DNS Server > フィールドは、デバイスのプライマリ DNS IP アドレスです。このフィールドはオプションです。DHCP が有効になっている場合には、このフィールドは編集不可になっています。

- <Secondary DNS Server>

<Secondary DNS Server> フィールドは、デバイスのセカンダリ DNS IP アドレスです。このフィールドはオプションです。DHCP が有効になっている場合には、このフィールドは編集不可になっています。

- <Domain Name>

<Domain Name> は、「domain.local」などのような使用されているドメイン名です。このフィールドはオプションです。このフィールドは、ホストまたはポータルがオンになっているドメインを指定します。

- <FQDN>

<FQDN> は、ホストまたはポータルの FQDN (Fully Qualified Domain Name) です。デフォルトは pcoip-host-MAC または pcoip-portal-MAC となり、MAC の部分はホストまたはポータルの MAC アドレスになります。使用する場合は、pcoip-host-MAC.domain.local のようにドメイン名が付け加えられます。

- <Ethernet Mode>

<Ethernet Mode> フィールドでは、ポータルの Ethernet モードの設定を行います。オプションは以下の通りです。

- <Auto>
- <10 Mbps Full-Duplex>
- <100 Mbps Full-Duplex>



管理者は、たとえばスイッチなどのネットワーク機器が <10 Mbps Full-Duplex> または <100 Mbps Full-Duplex> で動作するように設定されているときには、常に <Ethernet Mode> を <Auto> に設定して <10 Mbps Full-Duplex> または <100 Mbps Full-Duplex> のみを使用するようになります。

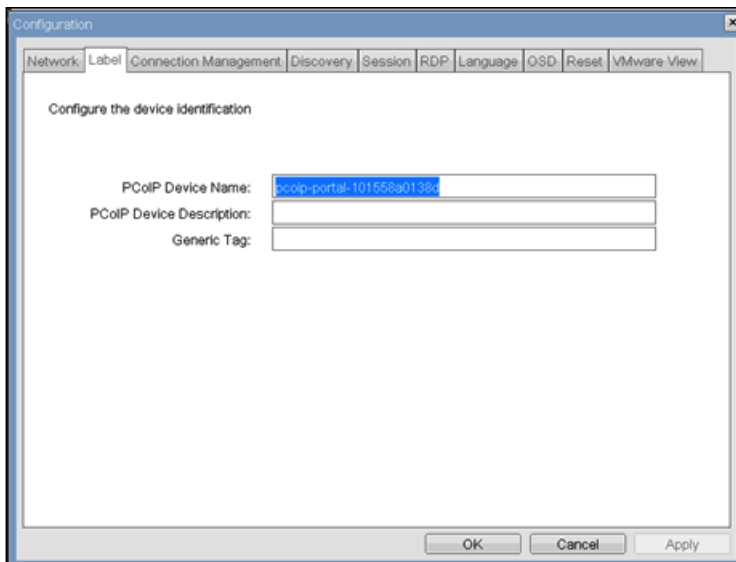
<Label> タブ

<Label> タブでは、管理者がホストまたはポータルのカスタム情報を追加することができます。



ポータル ラベル パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-5:<Label> 設定



- <PCoIP Device Name>
<PCoIP Device Name> で管理者がホストまたはポータルに論理名を指定できるようになっている場合。デフォルトは pcoip-host-MAC または pcoip-portal-MAC となり、MAC の部分はホストまたはポータルの MAC アドレスになります。
- <PCoIP Device Description>
<PCoIP Device Description> では、管理者がエンドポイントの場所などの説明や詳細情報をホストまたはポータルに付けることができます。
- <Generic Tag>
<Generic Tag> では、管理者がホストまたはポータルにジェネリック タグ情報を与えることができます。

<Connection Management> タブ

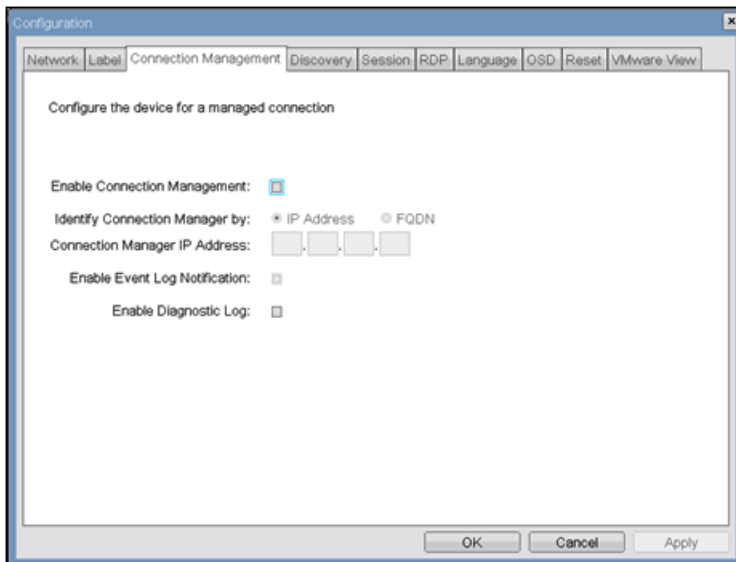
<Connection Management> タブでは、接続管理の有効または無効を切り替えることができ、接続マネージャの IP アドレスを指定します。

管理対象の接続では、外部の <Connection Manager> サーバーが通信を行い、リモートからデバイスの制御および設定を行うことができます。さらに、接続マネージャはデバイスの接続先となる適切なピアを特定し、接続を開始することができます。<Connection management> により、大規模で複雑なシステムの管理が大幅に簡単になります。



接続管理パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-6:<Connection Management> 設定



- <Enable Connection Management>
<Enable Connection Management> オプションが有効になっている場合には、外部の接続マネージャによりデバイスの設定および制御を行うことができます。
- <Identify Connection Manager By>
<Identify Connection Manager By> セレクタにより、管理者は接続マネージャを <IP address> で接続するか、FQDN (Fully Qualified Domain Name) で識別するかを選択することができます。接続管理が無効になっている場合には、このフィールドは必須ではなく編集不可になります。
表 2-1 は、それぞれの方法を選択したときに使用できる設定パラメータを示しています。無効な IP アドレスまたは DNS 名が入力されると、OSD が管理者に対して修正を促すプロンプトを表示します。

表 2-1:接続マネージャの方法

方法	データ フィールド
<IP address>	接続マネージャの IP アドレス
<FQDN>	接続マネージャの DNS 名

- <Enable Event Log Notification>
<Enable Event Log Notification> フィールドは、PCoIP ホストおよびポータル デバイスがイベント ログの内容を接続管理サーバーに送信するかどうかを制御します。
- <Enable Diagnostic Log>
<Enable Diagnostic Log> フィールドは、接続管理固有のデバッグ メッセージを PCoIP ホストおよびポータル デバイスのイベント ログに書き込むかどうかを制御します。

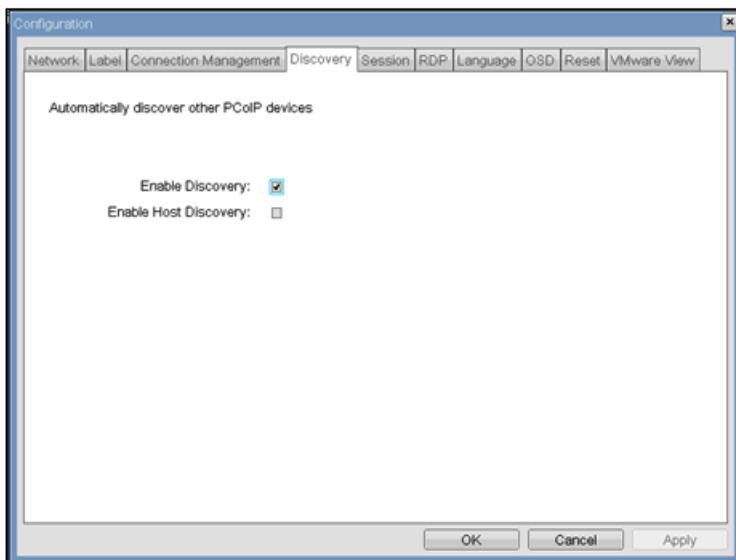
<Discovery> タブ

<Discovery> 設定タブでは、PCoIP システム内のポータルを発見しやすくする機能を利用することができます。




ディスカバリ パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-7:<Discovery> 設定



- <Enable Discovery>

<Enable Discovery> オプションが有効になっている場合には、デバイスは SLP ディスカバリを使用してピア デバイスを動的に発見し、デバイスが事前にネットワーク内における自身の一を知っておく必要はありません。これによって、複雑なシステムにおける設定およびメンテナンスの労力を劇的に軽減することができます。

 SLP ディスカバリはマルチキャストを許可するように設定されているルーターを必要とし、したがって DNS-SRV ディスカバリが推奨されるディスカバリ メカニズムとなります。

- <Enable Host Discovery>

<Enable Host Discovery> 機能により、ポータルは PCoIP セッション内にはないホストを発見することができます。有効になっているときには、ポータルは最大 10 台までの利用可能なホストを発見した順に表示することができます。

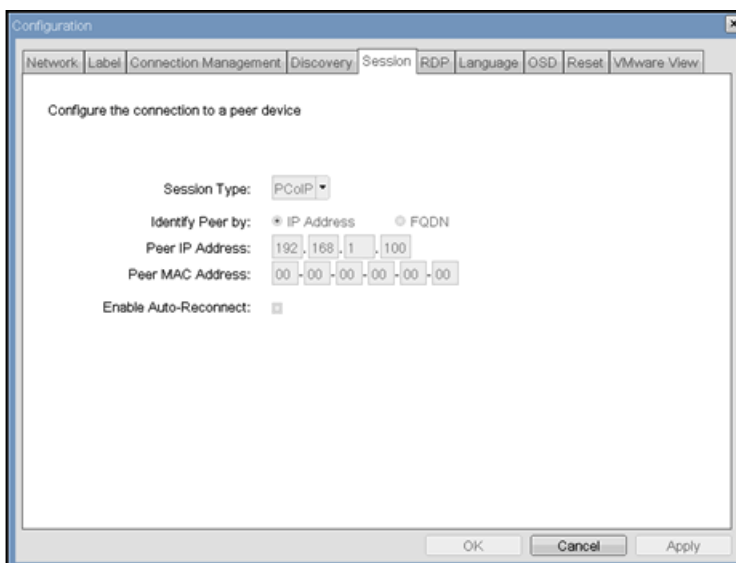
<Enable Host Discovery> 機能は、ホストの数が少数のときに使用するためのものです。

<Session> タブ

<Session> タブでは、デバイスがピア デバイスに接続する方法を管理者が設定できます。

 セッション パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-8:<Session> 設定



- <Session Type>

<Session Type> では、PCoIP セッションまたは RDP セッションのポータルを管理者が設定することができます。

- <Identify Peer By>

<Identify Peer By> セレクタにより、管理者は接続マネージャを IP アドレスと MAC アドレスで識別するか、FQDN (Fully Qualified Domain Name) で識別するかを選択することができます。

表 2-2 は、それぞれの方法を選択したときに使用できるピア識別パラメータを示しています。無効な IP アドレスまたは DNS 名が入力されると、OSD が管理者に対して修正を促すプロンプトを表示します。

表 2-2:ピア識別方法

ピア識別方法	データ フィールド	コメント
ピアの IP/MAC	ピアの IP Address	PCoIP またはポータル RDP クライアント
	ピアの MAC アドレス	PCoIP
ピアの FQDN	ピアの FQDN	PCoIP またはポータル RDP クライアント

- <Enable Auto-Reconnect>

<Enable Auto-Reconnect> オプションにより、セッションが失われたときにポータルは最後に接続していたホストに自動的に再接続することができます。

<Language> タブ

<Language> フィールドでは、管理者が OSD の言語を設定することができます。


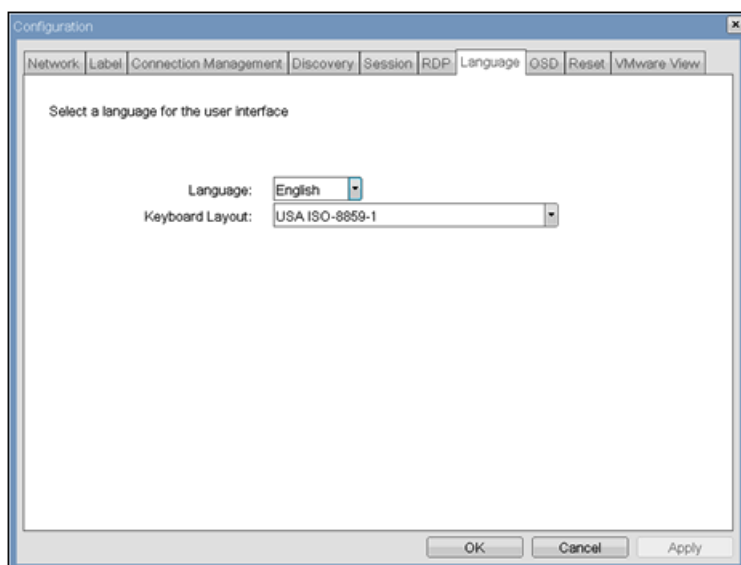
 言語パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-9:<Language> 設定



<Language>

<Language> フィールドを使用して、画面上の表示およびイベント ログ メッセージの言語を設定することができます。

<Keyboard Layout>

<Keyboard Layout> フィールドでは、管理者がキーボードのレイアウトを変更することができます。

<Reset> タブ

<Reset> タブでは、管理者がフラッシュ内に格納されているすべての設定パラメータをリセットすることができます。


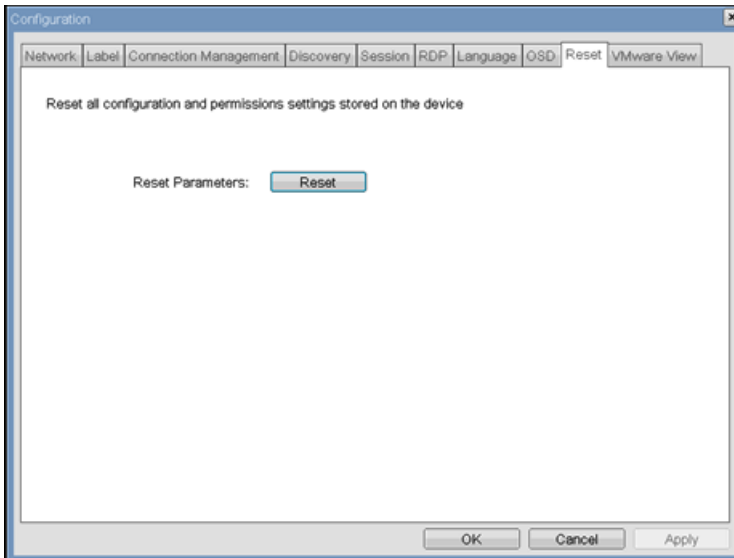
 リセットも、Web ページ管理インターフェイスを使用して開始することができます。

図 2-10:<Reset>



<Reset Parameters>

<Reset Parameters> <Reset> ボタンは、すべての設定とパーミッションを工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。

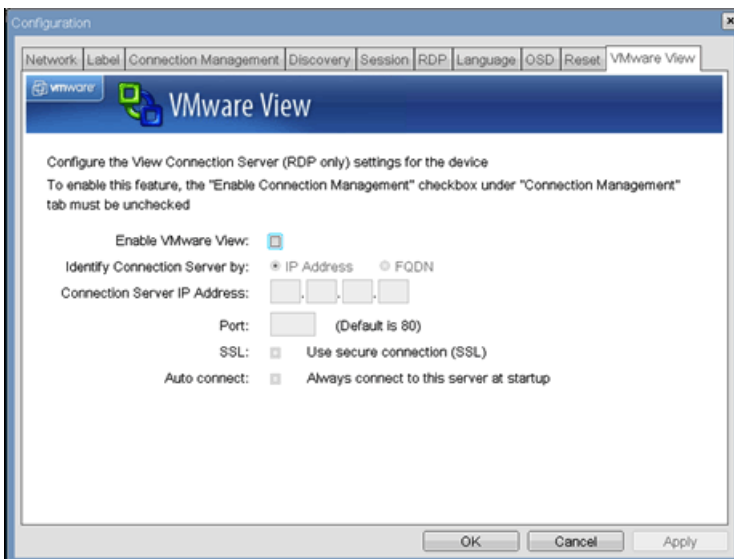
<VMware View> タブ

<VMware View> タブでは、VMware View Connection Server を使用するための設定を行うことができます。



VMware View パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-11:<VMware View> 設定



<Enable VMware View>

<Enable VMware View> オプションを有効にすると、VMware View Connection Server を使用するようにポータルを設定することができます。



VMware View 機能を有効にするには、<Enable Connection Management> タブで <Connection Management> チェックボックスのチェックを外す必要があります。

<Identify Connection Server by>

<Identify Connection Server by> セレクタにより、管理者は接続マネージャを IP アドレスで接続するか、FQDN (Fully

Qualified Domain Name) で識別するかを選択することができます。VMware View が無効になっている場合には、このフィールドは必須ではなく編集不可になります。

<Port>

<Port> パラメータにより、管理者が VMware View Connection Server との通信に使用するポートを指定することができます。

<SSL>

<SSL> パラメータにより、管理者が VMware View Connection Server との通信に使用する <SSL> ポートを指定することができます。

<Auto connect>

<Auto connect> パラメータでは、ポータルがスタートアップ時に VMware View Connection Server と必ず接続するよう管理者が指定することができます。

<Diagnostics> ウィンドウ

<Diagnostics> では、管理者がポータルに関連する診断を行うウィンドウ タブにアクセスすることができます。<Diagnostics> ウィンドウには、以下のタブがあります。

- <Event Log>
- <Session Statistics>
- <PCoIP Processor>
- <Ping >

各タブには、ウィンドウを閉じるために [閉じる] ボタンがあります。

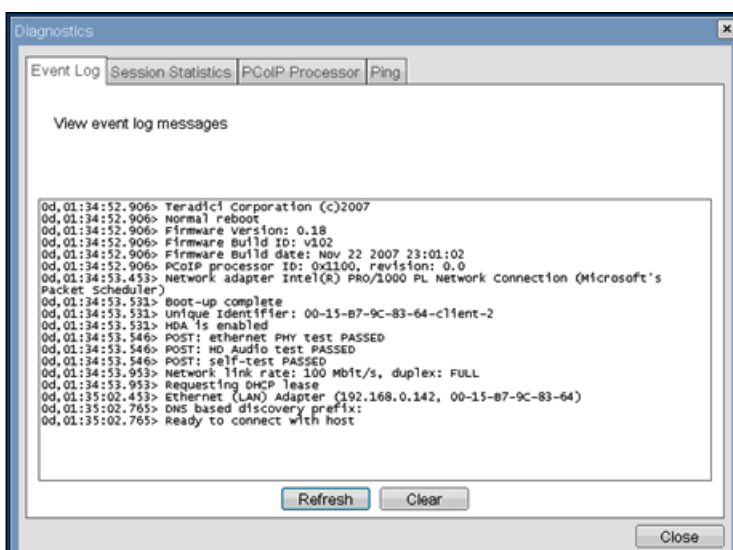
<Event Log> タブ

<Event Log> タブでは、管理者がポータルからのイベント ログ メッセージの表示およびクリアを行うことができます。



<Event Log> は、いずれも Web ページ管理インターフェイスを使用して開始することができます。

図 2-12:<Event Log>



<View event log messages>

<View event log messages> フィールドには、ログ メッセージがタイム スタンプ情報とともに表示されます。関連して 2

つのボタンが使用できます。

- <Refresh>
<Refresh> ボタンを選択すると、表示されるイベント ログ メッセージが更新されます。
- <Clear>
<Clear> ボタンを選択すると、表示されているイベント ログ メッセージをすべてクリアします。

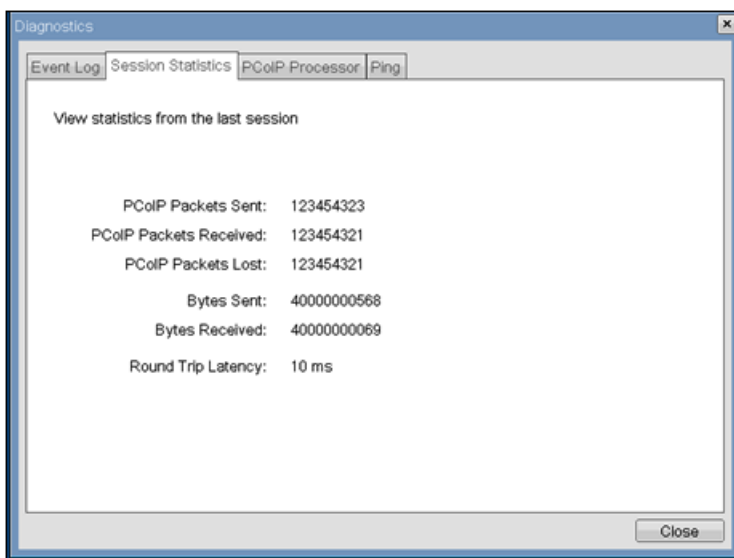
<Session Statistics> タブ

<Session Statistics> タブでは、管理者がポータル上でアクティブとなっていた直近の PCoIP セッションについての PCoIP ごとの統計を表示することができます。



<Session Statistics> も、Web ページ管理インターフェイスを使用して表示することができます。

図 2-13:<Session Statistics>



<PCoIP Packets Statistics>

- <PCoIP Packets Sent>
<PCoIP Packets Sent> フィールドは、直近のアクティブなセッションでポータルからホストに送信された PCoIP パケットの総数を示します。
- <PCoIP Packets Received>
<PCoIP Packets Received> フィールドは、直近のアクティブなセッションでポータルからホストに送信された PCoIP パケットの総数を示します。
- <PCoIP Packets Lost>
<PCoIP Packets Lost> フィールドは、直近のアクティブなセッションで失われた PCoIP パケットの総数を示します。

<Bytes Statistics>

- <Bytes Sent>
<Bytes Sent> フィールドは、直近のアクティブなセッションで送信された総バイト数を示します。
- <Bytes Received>
<Bytes Received> フィールドは、直近のアクティブなセッションで受信された総バイト数を示します。

<Round Trip Latency>

<Round Trip Latency> フィールドは、PCoIP システムの総ラウンドトリップ (たとえばポータルからホストへ行き、ホストに戻る)とネットワーク遅延 (+/- 1 ms) をミリ秒単位で示します。

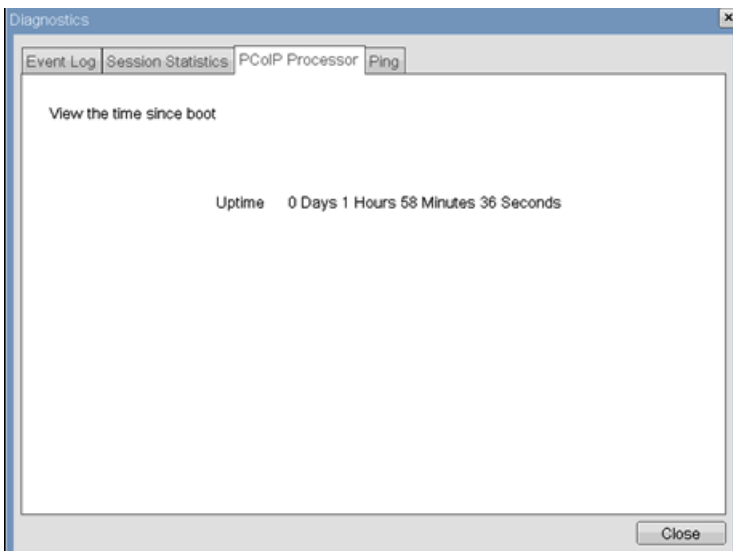
<PCoIP Processor> タブ

<PCoIP Processor> タブでは、ポータルの PCoIP プロセッサが直近に起動されてからのアップタイムを管理者に対して示します。



<PCoIP Processor> アップタイムは、Web ページ管理インターフェイスでも表示できます。

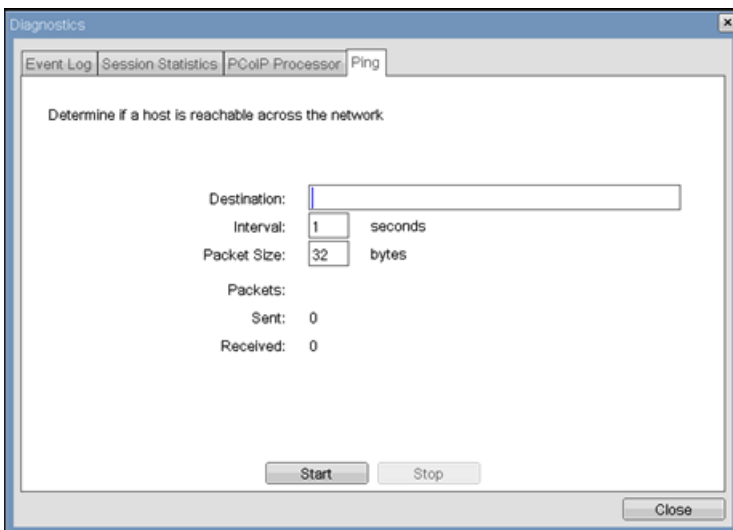
図 2-14:<PCoIP Processor>



<Ping> タブ

<Ping> タブでは、管理者がデバイスに ping を送信し、IP ネットワークを介して到達できるかを確認することができます。これは、ホストに到達できるかどうかを判断するのに便利です。

図 2-15:<Ping >



Ping 設定

- <Destination>
ping 先の IP アドレスまたは FQDN
- <Interval>
ping パケットの間隔
- <Packet Size>
ping パケットのサイズ

パケット

- <Sent>
送信された ping パケット数
- <Received>
受信した ping パケット数

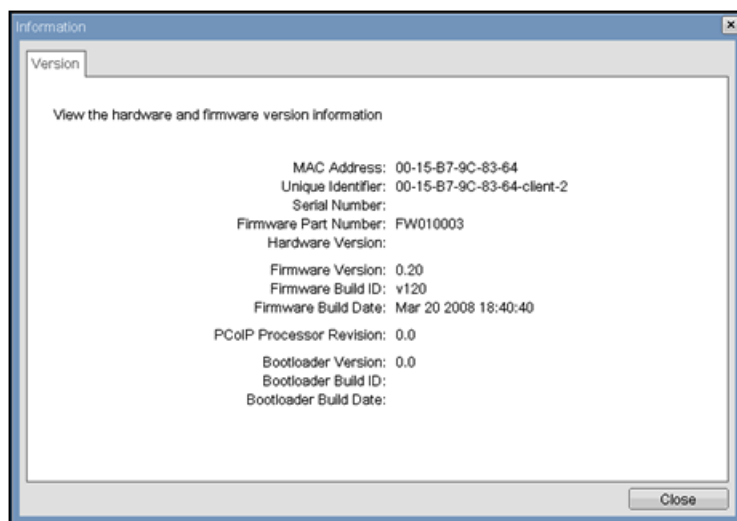
<Information> ウィンドウ

<Information> ウィンドウでは、デバイスの情報を格納している **Version** タブに管理者がアクセスできます。



バージョン情報も、Web ページ管理インターフェイスを使用して表示することができます。

図 2-16:<Version>



VPD 情報

VPD (Vital Product Data) は、各ポータルまたはホストに工場で一意的に割り当てられた情報です。

- <MAC Address>
ポータルの一意な <MAC address>
- <Unique Identifier>
ポータルの一意な識別子
- <Serial Number>
ポータルの一意なシリアル番号
- <Firmware Part Number>
PCoIP ファームウェアの部品番号
- <Hardware Version>
ポータルのハードウェア バージョン番号

ファームウェア情報

<Firmware Information> は、現在の PCoIP ファームウェアの詳細情報を反映します。

- <Firmware Version>
現在の PCoIP ファームウェアのバージョン
- <Firmware Build ID>
現在の PCoIP ファームウェアのリビジョン コード
- <Firmware Build Date>
現在の PCoIP ファームウェアのビルド日付

<PCoIP Processor Revision>

<PCoIP Processor Revision> リビジョン フィールドは、PCoIP プロセッサのリビジョン コードを表示します。TERA1x00 Revision A silicon は 0.0 を示し、TERA1x00 Revision B silicon は 1.0 を示します。

ブートローダー情報

ブートローダ情報は、現在の PCoIP ブートローダの詳細を反映しています。

- <Bootloader Version>
現在の PCoIP ブートローダのバージョン
- <Bootloader Build ID>
現在の PCoIP ブートローダのリビジョン コード
- <Bootloader Build Date>
現在の PCoIP ブートローダのビルド日付

<User Settings> ウィンドウ

<User Settings> ウィンドウでは、マウスおよびキーボードの設定、および PCoIP 画像の品質を定義するウィンドウ タブにユーザーがアクセスできます。

User Settings メニューには、以下のタブがあります。

- <Mouse>
- <Keyboard>
- <Image>

<Mouse> タブ

<Mouse> タブでは、ユーザーが OSD および RDP セッションのマウス カーソル速度設定を変更することができます。


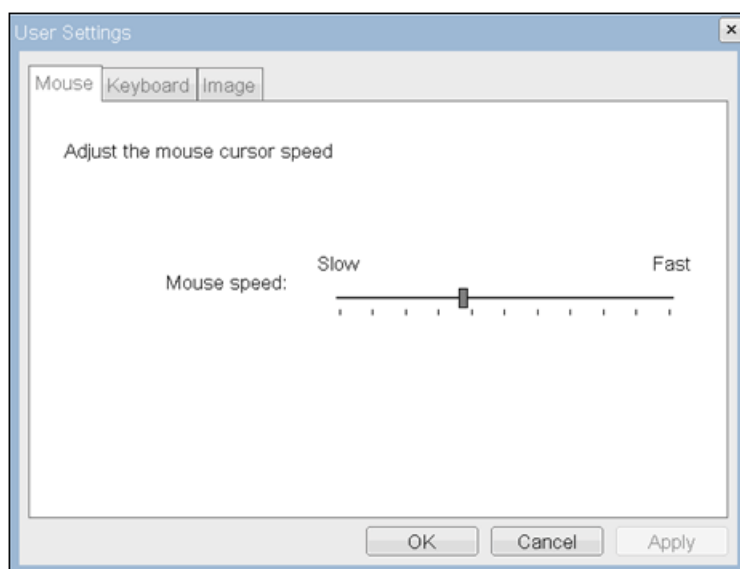
 OSD のマウス カーソルの速度設定は、ローカル キーボード ホスト ドライバの機能を使用していない限り、PCoIP セッションがアクティブなときのマウス カーソルの設定には影響を与えません (詳細についてはPCoIP ホスト ソフトウェア ユーザー ガイドを参照してください)。

図 2-17:<Mouse>



- <Mouse Speed>
<Mouse Speed> フィールドでは、ポータルのマウス カーソルの速度を設定することができます。



<Mouse Speed> は、PCoIP ホスト ソフトウェアでも設定することができます。PCoIP ホスト ソフトウェアの使用の詳細については、PCoIP ホスト ソフトウェア ユーザー ガイドを参照してください。

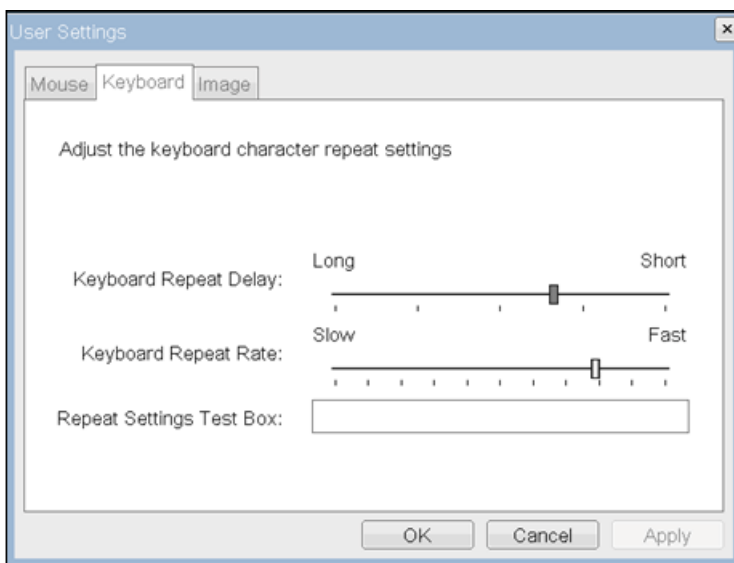
<Keyboard> タブ

<Keyboard> タブでは、ユーザーが OSD および RDP セッションにおけるキーボード リピート設定を変更できます。



OSD のキーボード設定は、ローカル キーボード ホスト ドライバの機能を使用していない限り、PCoIP セッションがアクティブなときのキーボード設定には影響を与えません (詳細についてはPCoIP ホスト ソフトウェア ユーザー ガイドを参照してください)。

図 2-18:<Keyboard>



- <Keyboard Repeat Delay >
<Keyboard Repeat Delay> フィールドでは、ユーザーがポータルのキーボード リピート遅延を設定できます。
- <Keyboard Repeat Rate>
<Keyboard Repeat Rate> フィールドでは、ユーザーがポータルのキーボード リピート速度を設定できます。
- <Repeat Settings Test Box >
<Repeat Settings Test Box> フィールドでは、ユーザーが選択したキーボードの設定をテストすることができます。

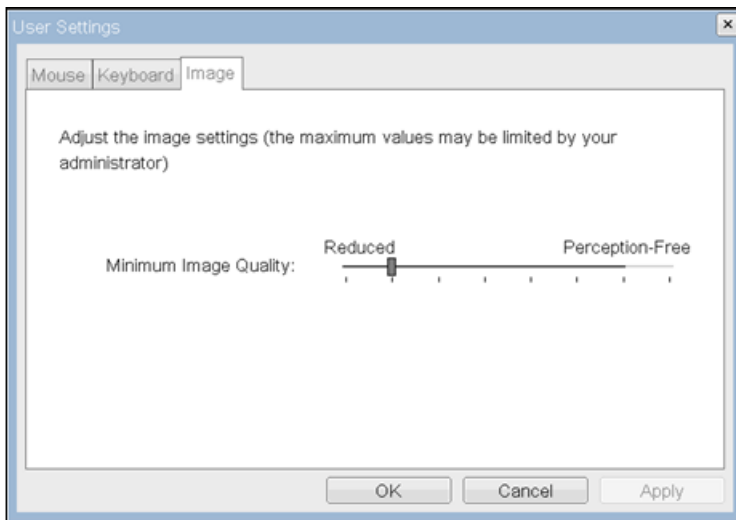
<Image>

<Image> タブでは、ユーザーが PCoIP システム上の画像設定を変更できます。



画像パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-19:<Image>



- <Minimum Image Quality>

<Minimal Image Quality> スライダーで、ユーザーがネットワークの帯域幅が限られているときの画質とフレーム レートとのバランスをとることができます。使用状況によっては、高いフレーム レートで低い画質を、もしくは低いフレーム レートで高い画質を選択する必要があります。

ネットワーク帯域幅が制限されていて画質が低下する場合には、スライダーを <Reduced> の方に動かします。

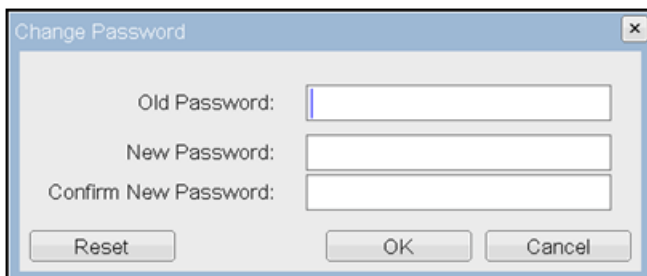
ネットワークの帯域幅が制限されていない場合には、PCoIP システムは <Minimum Image Quality> の設定と無関係に <perception-free> の画質を維持します。

<Password> ウィンドウ

<Password> ウィンドウでは、管理者がデバイスの管理パスワードを更新することができます。これは Web インターフェイスとローカルの <OSD> GUI に影響することに注意してください。

- パスワードを忘れるとポータルが使用できなくなる場合があるため、ポータルパスワードをアップデートするときには注意が必要です。
- パスワードも、Web ページ管理インターフェイスを使用して更新することができます。
- 一部の PCoIP デバイスではデフォルトでパスワードが無効になっており、この <Password> ウィンドウが使用できない場合があります。パスワード保護は、PCoIP 管理コンソールから有効にすることができます。

図 2-20:<Change Password>



- <Old Password>

変更を有効にするには、<Old Password> フィールドが現在の管理パスワードに一致しなければなりません。

- <New Password>

<New Password> フィールドは、Web インターフェイスとローカルの OSD GUI の両方の新しい管理パスワードとなります。

- <Confirm New Password>

変更を有効にするには、<Confirm New Password> フィールドが <New Password> フィールドに一致しなければなりません。

- <Reset>

ポータルパスワードがわからなくなった場合には、<Reset> ボタンを使用して管理者がベンダーに回答コードを問い合わせることができます。チャレンジコードをベンダーに送信することができます。ベンダーは問い合わせについて確認し、承認が下りた場合には回答コードを返信します。

回答コードが正しく入力されると、ポータルパスワードが空文字列にリセットされ、管理者に対して新たなパスワードを入力するよう求めるプロンプトが表示されます。


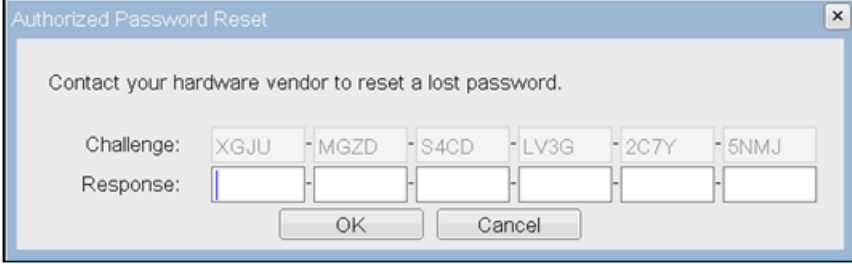

 パスワードのリセットに関する認証が必要な場合の詳細については、ポータルのベンダーにお問い合わせください。

図 2-21:<Authorized Password Reset>



 PCoIP の使用方法に関する説明は変更されることがあります。最新の情報については、Teradici 社の Web サイト (<http://www.teradici.com>) をご確認ください。

Natural Color とは？

PC を使用しているときの問題として、画面に表示される色が印刷したときの色またはスキャナーやデジタル カメラから入力されたソース画像の色と異なる場合がある、というものがあります。**Natural Color** は、**Samsung Electronics** がこの問題を解決するために開発した色管理システムです。このソフトウェアはサムスンの製品でのみ動作し、画面に表示される色を調整して印刷したときの画像の色と同じになるようにします。詳しくは、ソフトウェアのオンライン ヘルプ (F1) を参照してください。

Natural Color はオンラインで入手できます。以下の Web サイトからダウンロードしてインストールすることができます。

http://www.samsung.com/us/consumer/learningresources/monitor/naturalcolorexpert/pop_download.html

MultiScreen とは？



MultiScreen は、複数の画面に区切ってモニターを複数のユーザーが使用できるようにします。

ソフトウェアのインストール

1. CDをCD-ROMドライブに挿入します。
2. MultiScreen セットアッププログラムを選択します。
 - ☞ ソフトウェア インストールのポップアップ画面がメイン画面に表示されない場合には、CD-ROM で MultiScreen セットアップ ファイルを探してダブルクリックします。
3. インストール ウィザードが表示されたら、[Next (次へ)] をクリックします。
4. 画面に表示される指示に従って以降のインストール手順を完了させます。
 - ☞
 - このソフトウェアは、インストール後にコンピュータを再起動しないと正常に動作しない場合があります。
 - コンピュータ システムと製品の仕様によっては、MultiScreen アイコンが表示されない場合があります。
 - ショートカット アイコンが表示されない場合には、F5 キーを押します。

インストールに関する制限と問題 (MultiScreen)

MultiScreen のインストールは、グラフィック カード、マザーボードおよびネットワーク環境による影響を受けることがあります。

オペレーティング システム

OS

- Windows 2000
- Windows XP Home Edition
- Windows XP Professional
- Windows Vista 32Bit
- Windows 7 32Bit

☞ MultiScreen では、Windows 2000 以降のオペレーティング システムが推奨されます。

ハードウェア

- 最低 32MB のメモリ
- 最低 60MB のハードディスク空き容量

ソフトウェアの削除

[Start (スタート)] をクリックし、[Settings (設定)]/[Control Panel (コントロール パネル)] を選択して [Add or Remove Programs (プログラムの追加と削除)] をダブルクリックします。

プログラム リストから MultiScreen を選択し、[Add/Delete (変更と削除)] ボタンをクリックします。

5 トラブルシューティング

5-1 モニターの自己診断

- 🔍 • 自己診断機能を使用して、製品が適切に動作しているかどうかを確認することができます。
 - 製品と PC が正しく接続されているのに画面に何も表示されず、電源 LED が点滅する場合には、下記の手順に従って自己診断機能を実行します。
1. 製品と PC の電源をオフにします。
 2. 製品から信号ケーブルを外します。
 3. 製品をオンにします。
 4. 製品が正常に動作していれば、<信号ケーブルを確認してください>というメッセージが表示されます。
このとき、何も映っていない画面が再度表示された場合には、PC と接続に問題がないか確認してください。製品は正常に動作しています。

5-2 故障かな？と思ったら

- ☑ サービスセンターにお問い合わせいただく前に以下の点をチェックしてください。問題が解決しない場合には、お客様相談ダイヤルにお問い合わせください。

画面に何も表示されない / 製品をオンにできない	
電源コードが正しく接続されていますか？	電源コードの接続状態を確認します。
画面に <信号ケーブルを確認してください> というメッセージが表示されていませんか？	PC と製品のケーブル接続を確認します。 ケーブルが接続されているのに画面にメッセージが表示される場合には、製品の [☐]/SOURCE] ボタンを押して入力信号を再チェックしてください。
画面に <最適なモードではありません> というメッセージが表示されていませんか？	これは、グラフィック カードからの信号が製品の最大解像度または最大周波数を超えている場合に表示されます。 この場合には、製品に適した解像度および周波数を設定します。
画面に何も表示されず、電源 LED が 1 秒間隔で点滅していますか？	これは、省電力機能が実行されているときの状態です。 マウスをクリックするか任意のキーを押すと、画面が表示されます。
映像が明るすぎる、または暗すぎる。	
<明るさ>と<コントラスト>を調整してください。 <MagicBright> が <ダイナミックコントラスト> に設定されている場合には、入力信号によって表示の明るさが異なることがあります。	
モニターのボタンが動作しません。	
キー ロック モードが有効になっていますか？	有効になっている場合は、キー ロック モードを無効にします。
色ははっきりしない / 画像が白黒で表示される	
セロファン紙越しに見たように、画面全体が 1 色で表示されていませんか？	コンピュータとの接続を確認します。 グラフィック カードをコンピュータに完全に挿入しなおします。 <カラー効果> が <オフ> に設定されているか確認します。
グラフィック カードが正しく設定されていますか？	ユーザー マニュアルを参照してグラフィック カードの設定を行います。
表示領域が突然画面の端や中央に移動する。	
グラフィック カードまたはドライバを変更しましたか？	[AUTO] ボタンを押して自動調整機能を実行してください。
製品に適した解像度および周波数を変更しましたか？	解像度および周波数をグラフィック カードに適した値に設定します。 (「標準信号モード表」を参照してください)
グラフィック カードが正しく設定されていますか？	ユーザー マニュアルを参照してグラフィック カードの設定を行います。
画像の焦点が合っていない	
製品に適した解像度および周波数を変更しましたか？	解像度および周波数をグラフィック カードに適した値に設定します。 (「標準信号モード表」を参照してください)

色が 16 BIT (16 色) で表示される。グラフィック カードを変えた後、画面の色が変わった。

製品のデバイス ドライバをインストールしましたか?	<p>Windows XP : Control Panel (コントロール パネル) → Appearance and Themes (デスクトップの表示とテーマ) → Display (画面) → Settings (設定) を選択して、色を再度設定します。</p> <p>Windows ME/2000 : [Control Panel (コントロール パネル) → Display (画面) → Settings (設定) を選択して、再度色を設定します。</p> <p>Windows Vista : コントロール パネル → デスクトップのカスタマイズ → 個人設定 → 画面の設定 を選択して、色の設定を変更します。</p> <p>Windows 7 : コントロール パネル → デスクトップのカスタマイズ → ディスプレイ → 解像度の調整 → 詳細設定 → モニター を選択して、色の設定を変更します。</p> <p>(詳しくは、お使いのコンピュータの Windows ユーザーマニュアルを参照してください。)</p>
---------------------------	--

グラフィック カードが正しく設定されていますか?	新しいグラフィック カード ドライバに合わせて色を再度設定します。
--------------------------	-----------------------------------

モニターを接続したときに、「未知のモニターです。プラグ & プレイ (VESA DDC) モニターが見つかりました」というメッセージが表示される

製品のデバイス ドライバをインストールしましたか?	ドライバのインストールについての説明を参照して、デバイス ドライバをインストールします。
すべてのプラグ & プレイ (VESA DDC) 機能がサポートされているかどうか、グラフィック カードのユーザー マニュアルで確認します。	ドライバのインストールについての説明を参照して、デバイス ドライバをインストールします。

製品の外縁に小さな異物が付着している

この製品は、柔らかな印象の色になるように黒色の外縁部に透明な素材をコーティングしてあるため、異物のようなものが見えることがあります。これは製品の欠陥ではありません。

コンピュータの起動時に「ビープ音」が聞こえる

コンピュータの起動時にビープ音が 3 回以上聞こえた場合は、コンピュータの点検を依頼してください。

音声に関する問題

音声がかえりません	<p>モニターの音声入力ポートとサウンドカードの音声出力ポートにオーディオケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。</p> <p>音量レベルをチェックします。</p>
音量が低すぎます。	<p>音量レベルをチェックします。</p> <p>音量を最大に調整しても音が小さすぎる場合には、コンピュータのサウンドカードまたはソフトウェアプログラムの音量コントロールをチェックします。</p>

FAQ!	以下を行っててください!
ビデオ信号の周波数の変更方法は?	<p>グラフィック カードの周波数を変更する必要があります。</p> <p>Windows XP :コントロール パネル → デスクトップの表示とテーマ → 画面 → 設定 → 詳細 → モニター を選択し、続いてモニター設定 でリフレッシュ レートを変更します。</p> <p>Windows ME/2000 :Control Panel (コントロール パネル) → Display (画面) → Settings (設定) → Advanced (詳細) → Monitor (モニター) を選択し、続いてMonitor Settings (モニター設定) でリフレッシュ レートを変更します。</p> <p>Windows Vista :[コントロールパネル]→[デスクトップのカスタマイズ]→[個人設定]→[画面の設定]→[詳細設定]→ [モニター]を選択して周波数を変更し、続いて [モニター設定] でリフレッシュレートを変更します。</p> <p>Windows 7 : Control Panel (コントロールパネル) → Appearance and Personalization (デスクトップのカスタマイズ) → Display (ディスプレイ) → Adjust resolution (解像度の調整) → Advanced settings (詳細設定) → Monitor (モニター) で周波数を変更し、続いて Monitor Settings (モニターの設定) でリフレッシュレートを変更します。</p> <p>(詳しくは、コンピュータまたはグラフィック カードのユーザーマニュアルを参照してください)</p>

FAQ!	以下を行ってみてください!
<p>解像度の変更方法は?</p>	<p>Windows XP :Control Panel (コントロール パネル) → Appearance and Themes (デスクトップの表示とテーマ) → [Display (画面) → Settings (設定)] を選択して、解像度を変更します。</p> <p>Windows ME/2000 :Control Panel (コントロール パネル) → Display (画面) → Settings (設定) を選択して、解像度を変更します。</p> <p>Windows Vista :コントロール パネル → デスクトップのカスタマイズ → 個人設定 → 画面の設定 を選択して、解像度を変更します。</p> <p>Windows 7 : Control Panel (コントロール パネル) → Appearance and Personalization (デスクトップのカスタマイズ) → [Display (ディスプレイ) → Adjust resolution (解像度の調整)] を選択して、解像度を変更します。</p> <p>(詳しくは、コンピュータまたはグラフィック カードのユーザーマニュアルを参照してください)</p>
<p>省電力機能の設定方法は?</p>	<p>Windows XP :Control Panel (コントロール パネル) → Appearance and Themes (デスクトップの表示とテーマ) → Display (表示) → Screen Saver (スクリーンセーバーの設定) を選択するか、コンピュータの BIOS 設定を使用して設定します。</p> <p>Windows ME/2000 :[Control Panel (コントロール パネル)] → [Display (表示)] → [Screen Saver (スクリーンセーバーの設定)] を選択するか、コンピュータの BIOS 設定を使用して設定します。</p> <p>Windows Vista :[コントロール パネル] → [デスクトップのカスタマイズ] → [個人設定] → [スクリーンセーバー] を選択して、設定を変更します。PC の BIOS 設定メニューを使用することもできます。</p> <p>Windows 7 :[コントロール パネル] → [デスクトップのカスタマイズ] → [個人設定] → [スクリーンセーバー] を選択して、設定を変更します。PC の BIOS 設定メニューを使用することもできます。</p> <p>(詳しくは、お使いのコンピュータの Windows ユーザーマニュアルを参照してください。)</p>

6 詳細情報

6-1 仕様



モデル名		NC220
LEDパネル	サイズ	22インチ(55 cm)
	表示範囲	473.76 mm (H) × 296.1 mm (V)
同期	水平	31~70kHz
	垂直	56~75Hz
表示色		16.7 M
解像度	最適解像度	1680 X 1050 @ 60Hz
	最大解像度	1680 X 1050 @ 60Hz
入力信号、終端		RGB アナログ 0.7 Vp-p ± 5 % 分離H/V同期、コンポジット TTL レベル (V high ≥ 2.0 V, V low ≤ 0.8 V)
最大ピクセルクロック		146.250MHz (アナログ/デジタル)
電源		この製品は 100–240 V の電源に対応しています。 標準電圧は国によって異なる場合があるため、製品背面のラベルを確認してください。
信号コネクタ		RGB IN(D-Sub) ポート
サーバー コネクタ		LAN ポート
USB		H5 % # K' ~ fi fi
寸法 (WxDxH) /重量		508.0 X 515.0 X 215.6 mm (スタンドを含む) / 5.5 kg 508.0 X 344.3 X 56.6 mm (スタンドを除く) / 3.8 kg
VESA 取り付けインターフェイス		100 mm x 100 mm 100 mm x 200 mm
環境条件	動作時	温度:10~40°C (50~104°F) 湿度:10~80 %、結露しないこと
	記録装置(梱包保存時)	温度:-20~45°C (-4~113°F) 湿度:5~95 %、結露しないこと
傾き		2° (±1°) ~ 25° (±1°)

設計および仕様は事前の通知なしに変更されることがあります。

VCCI-B

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

6-2 省電力機能

この製品は、一定の時間製品が使用されなかったときには電力消費を抑えるために画面を自動的に消す省電力機能を備えています。製品が省電力モードに入った場合には、電源 LED の色が変わり、省電力モードに入っていることを示します。製品が省電力モードに入っているときは、電源はオフにはならず、キーを押すかマウスをクリックすると画面が再度表示されます。ただし、省電力機能は製品が省電力機能を備えているコンピュータに接続されているときにのみ動作します。

モード	通常動作	電源オフ (本体ボタン オフ)	電源オフ (本体スイッチ オフ)
電源インジケータ	オン	点滅	オフ
消費電力(一般)	38 W	0.8 W 未満	0 W

- システムの状態または設定が変更された場合は、実際の消費電力が上記の消費電力と異なる場合があります。
- 電力消費を止めるには、スイッチをオフにするか、背面の電源ケーブルを抜きます。長時間外出する場合は、電源ケーブルを抜いてください。